

# 地方史情報 098

2010年8月

「論集 戦国大名と国衆」刊行にあたって 黒田 基樹

戦国史の研究は、今から25年以上前となる1980年代前半にすすめられた、有力な戦国大名と地域ごとに、過去の重要論文を集成した「戦国大名論集」全18巻（吉川弘文館刊）の刊行が、大きな画期をなしている。雑誌類や地方史誌類に掲載された貴重な論文が集成されたことによって、誰もが手軽に過去の研究の概要を把握することができ、多くの人々が戦国史研究に参加することができるようになった。現在、戦国史研究を担う中堅・若手の研究者は、すべてその恩恵を受けた世代にあたり、多くの研究が生みだされている。

またこの間の研究で、とくに著しく進展をみたのが、大名当主を支えた一族・家臣、さらに大名の従属下にありつつも独自に存立する国衆についての研究である。それらの研究によって、戦国大名研究は地域史研究とも一体化し、さらに立体的なものになりつつある。しかしその反面、研究の対象が細分化されていくとともに、研究をすすめるにあたっては、有力大名の研究以上に、地方史誌類における地域史研究の把握が必要になっている。しかしそうした地方史誌類を参照することは簡単ではないため、研究の概要を把握することはそれほど容易ではない。

こうした研究の現状に鑑みて、これまでの戦国大名・国衆といった地域権力に関する研究のうち、とくに研究成果が充実しているものについて、個々の大名や国衆ごとに研究成果を総括し、新たな指針を示すことが、これからの戦国史研究のさらなる進展のために有益であると考え、ここに「論集 戦国大名と国衆」を企画した。

論集各巻では、おおよそ大名・国衆ごとに、過去の主要論文を集成することをこころみている。ただし関係論文が多いものについては、すべてを集成することは不可能であるため、すでに単著や「戦国大名論集」などの再録論集に収録されている論文については収録を見合わせ、雑誌類や地方史誌類に掲載された貴重な論文の集成を優先している。そのうえで、未収録の論文も含めて、研究成果を総括し、今後の指針を明確にするために、編者による総論もしくは解説を付すようにしている。

このように、個々の大名や国衆を対象にして、関連論文を集成し、総合的な解説を付すことによって、これまでの戦国大名・国衆研究の主要な部分の把握を容易にし、また新たな指針を示すことができると考える。そしてこれによって、今後より一層、研究の進展がもたらされると確信している。

（編集委員を代表して）

（黒田編『論集 戦国大名と国衆1 武蔵大石氏』2010.5、小社刊、より）

# 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

## 北海道・東北

- ◆アイヌ語地名研究 アイヌ語地名研究会  
〒061-1448北海道恵庭市相生町179-5 ハ  
ウスオブ恵庭105 渡辺隆方 TEL0123-34-  
2130 / 〒062-0007札幌市豊平区美園七条  
1丁目3-1-507 高木崇世芝方 TEL011-821-  
2831 (発売:北海道出版企画センター)  
年5000円
- ◇12 2009.12 B5 181p 2000円  
天保国絵図「松前嶋図」に見える  
地名 高木崇世芝  
伊能間宮蝦夷図の石狩勇払横断ル  
ート地名(3) 井口 利夫  
松浦武四郎文献における空知の  
「アイヌ古道」(4) 平 隆一  
小樽内、銭函、樽前  
—タオロの概念について 榊原 正文  
稚内 増幌川流域のアイヌ語地名  
宮崎 耕太  
現有地名「留寿都」と難読旧地名  
「御卒別」 横平 弘  
チライのつく地名 高橋 慎  
色丹島のアイヌ語地名 伊藤せいち  
幕末・明治の山名探索  
資料編(国後・択捉・北海道) 渡辺 隆  
南九州の古代「隼人(ハヤト)語」  
の必志(ビシ)の語源は和語か、  
それともアイヌ語系の言葉か?  
清水清次郎  
旭川の「神楽岡」のアイヌ語地に  
ついて(上) 高橋 基  
談話室

魚無し川で魚を釣り 伊藤せいち  
古地図雑感 高木崇世芝  
ソーランはアイヌ語?? 渡辺 隆

◆文化情報 北海道文化財保護協会  
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目  
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111  
www.l0.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇316 2009.11 B4 4p  
道文化財保護功労賞を贈呈  
個人 駒木佐助氏・上武やす子  
氏・高田緑郎氏/団体 江別市  
野幌太々神楽伝承会  
文化財講演会から 開拓使幹部の  
地位を捨て旅に死ぬ—村橋久成  
の生涯 田中 和夫  
国際シンポジウム「間宮林蔵が見  
た世界」 中村 和之  
射的山の花 舟山 廣治

「アイヌ古式舞踊」がユネスコの  
無形文化遺産「代表一覧表」に  
記載決定  
博物館物語(6) 紋別市立博物館  
まちなか芸術館—まちなかの学  
びの拠点として 佐藤 和利

各団体の活動(6) 稚内市歴史・  
まち研究会 皆の手で残そう!  
北の防人遺産  
第2回北海道文化財保護強調月間  
始まる

◇317 2010.1 B4 8p  
新年の門松にえりも岬の森を想う  
舟山 廣治

- 「見る・感じる!北の縄文世界展」  
を開催  
「見る・感じる!北の縄文世界展」  
の開催について—世界文化遺産  
登録推進フォーラム  
北海道教育庁文化・スポーツ課  
道外散歩に参加して—北前船交易  
港酒田・作家藤沢周平生誕地・  
奥の細道を訪ねる 齊藤 詔司  
産業遺産 函館市の産業遺産(1)  
函館要塞の調査とその活用運動  
富岡由夫/山田大隆  
子どもの文化財愛護活動  
根室市・陸別町  
神々の国 様似の古文書 水野 洋一  
各団体の活動(7) 松前町芸能保  
存団体連絡協議会 民俗芸能の  
保存伝承をめざして  
博物館物語(7) 三笠市「三笠市  
立博物館」 日本一のアンモナ  
イト博物館 加納 学  
当会創立50周年記念事業を成功さ  
せよう  
郷土の文化学び伝える真摯な姿勢  
—高文連全道郷土研究発表大会  
から  
北海道文化財保護協会賞を授与 野村 崇  
地域の情報 歌オプナ林について  
木村 芳一
- ◆北海道れきけん 北海道歴史研究会  
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12  
田中貢方 TEL011-667-2137  
homepage3.nifty.com/tm3053/  
◇71 2009.12 B5 8p  
蜂須賀正氏に贈られた野牛 橋本とおる  
随筆 サッポロ 地蔵 慶護  
「学制」の確立 明治時代(2) 久々湊昭三

随筆 浜益村でマスを捕らえる 地蔵 慶護

- ◆北方民族博物館だより  
〒093-0042北海道網走市潮見309-1  
TEL0152-45-3888 hoppohm.org
- ◇75 2009.12 A4 8p  
第24回北方民族文化シンポジウム  
現代社会と先住民文化(1)—観  
光、芸術から考える 第1部「モ  
ンゴル、カムチャツカでの新た  
な観光」/第2部「観光と民族  
の間」/第3部「博物館と観光」  
/第4部「オセアニアでの多様  
な観光」/総合質疑・討論 齋藤 玲子  
講座 北方領土の自然と人びと  
「北方領土における自然生態系  
の変化—その現状と問題点」小  
林万里氏/「ヤミ経済からの脱  
却—知床世界遺産の拡張構想」  
本間浩昭氏 角 達之助  
アイヌ文化講演会 木彫り入門—  
アイヌ文様を彫る 講師・西田  
正男氏、床明氏 齋藤 玲子  
講座 環オホーツクの民族音楽事  
情 講師・大島稔氏、甲地利恵  
氏 齋藤 玲子  
北海道民族学会・平成21年度研究  
会・網走大会「映像に見る文化  
の諸相」 中田 篤  
北海道博物館紀行 北海道立埋蔵  
文化財センター 土偶のおはな  
しと土偶づくり 講師・鎌田望  
氏 角 達之助

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会  
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34  
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688  
◇234 2009.11 B5 8p

平泉文化の「こころ」を世界へ 高橋 一男  
 中尊寺の「文化遺産」 佐々木仁秀  
 南洞頼賢師を偲ぶ 藤里 明久  
 釜石市の文化芸術行政 河東 眞澄  
 県立「博物館まつり」の意義 熊谷 道仁  
 佐々木隆さんの「女舞」を堪能  
 愛護協会40年を祝う  
 「女舞」を見て 菊池 慧  
 愛護協会40年の歩み(下)  
 基本の舞いをきびきびと表現 青  
 少年フェス終わる／文化財シリ  
 ーズ(5)「干支づくし」発刊  
 ◇235 2010.1 B5 12p  
 民俗芸能を支える道具  
 えんふりの被り物「烏帽子」  
 伝統文化の振興 佐藤 宏  
 無指定文化財の掘り起こし 八巻 恒雄  
 地域の連携育む民俗芸能 末崎 順一  
 時代に左右されない文化振興を目  
 指して 高橋 一臣  
 岩手の誇れる文化芸術を次代に 岩間 隆  
 丘は花ざかり 斎藤 五郎  
 摩多羅神の“素顔” 高橋 信雄  
 縄文遺産の再吟味を 熊谷 常正  
 金津流の始祖「太蔵祭」 平野 幸男  
 民俗写真の一元管理を 中田 功一  
 三ヶ尻鹿踊との交流 畠山 務  
 55人参加して笛の技術学ぶ／「多  
 賀神楽」DVD  
 ◆東北文化研究所紀要  
 東北学院大学東北文化研究所  
 〒980-8511仙台市青葉区土樋1-3-1  
 TEL022-264-6430 1969年創刊  
 ◇41 2009.12 B5 98p  
 近代墓地法制の形成・展開と墓地  
 慣行との軋轢(2)―旧城下仙台  
 を中心にして 岩本 由輝

都の奥州武将―奥州武士の西国で  
 の戦いを巡って 野崎 準  
 栗原市高清水「仰ヶ返り地藏前遺  
 跡」の調査研究(4)―鎌倉時代  
 日本最北の瓦窯跡2基の構造と  
 変遷が判明  
 佐川正敏／藤原二郎／瀬戸秀一  
 「境澤文書追加目録」について 難波 信雄  
 宮城県村田町におけるソラマメを  
 活かした地域づくりの特徴  
 酒井宣昭／中村慎司  
 仙台市における切り花消費の背景  
 を探る―切り花消費の地域性 高野 岳彦  
 地域自然と和合した伝統的な“暮  
 らし空間”の景観生態学的描写  
 (1) 仙台市堂所の里山農家に  
 おける屋敷と背戸山  
 平吹喜彦／伊藤ひかる  
 ／畠知智美／内山槇子  
 ◆東北民俗 東北民俗の会  
 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大  
 学大学院文学研究科 宗教学研究室  
 FAX022-795-6022 年4000円 1966年創刊  
 tohokuminzoku.com  
 ◇43 2009.6 A5 79p 1000円  
 柳田国男と仙台 鈴木 岩弓  
 宮城県旧名取郡における一村落の  
 構造―年序組織と契約 相澤 出  
 小型沿岸捕鯨の民俗 川島 秀一  
 チャセゴ 稲 雄次  
 馬と胡桃―仙台・蟬崎神社におけ  
 る習俗形成過程の考察 佐藤 千尋  
 小正月の樹とその選択―岩手県・  
 宮城のアワボとヌルデを中心に  
 今石みぎわ  
 福島県の猫神碑と猫の石像 石黒伸一郎  
 きのこと民俗

―東北人のきのご談義 根本 敬子  
 会津と越後の境界線をめぐる婚姻  
 と婚礼用具―「両属」という視  
 点から 門口 実代  
 平成20年度年次報告  
 ◆秋田歴研協会誌  
 秋田県歴史研究者・研究団体協議会  
 〒010-1341秋田市雄和新波本屋敷90  
 工藤一紘方 TEL018-887-2007 1996年創刊  
 akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html  
 ◇42 2009.12 B5 26p  
 《第15回大会特集  
 近世日本海海運の展開と雄物川水運》  
 基調報告 雄物川水運と日本海海  
 運の展開 渡辺 英夫  
 研究発表  
 民俗部門 仙北神楽とその「山  
 の神舞」について 小田島清朗  
 歴史・考古部門 河川交通・水  
 運史の研究課題 半田 和彦  
 用語解説  
 文銀 先竿・中竿・後竿 半田 和彦  
 歴史情報 首都圏秋田歴史と文化  
 の会―第4・5回大会と碩学2氏  
 の訪秋 神宮 滋  
 歴史情報  
 自費出版紹介『秋田藩大館諸兵  
 戊辰戦争記録』 鷺谷 豊  
 新刊紹介  
 『武雄軍団秋田を駆ける』 田口勝一郎  
 『大湯村歴史紙芝居』(冊子版)  
 越中 正一  
 『東門院所蔵文書』 半田 和彦  
 文献情報／催しもの情報  
 ◆史友 合川地方史研究会  
 〒018-4282秋田県北秋田市李岱下豊田25

北秋田市合川公民館内 TEL0186-78-2114  
 年2000円 1991年創刊  
 ◇32 2009.12 B5 52p 1000円  
 会活動と方向について  
 ―思うままに 三浦 欽一  
 合川風土記(1) 福岡龍太郎  
 栄えある受賞おめでとうございま  
 す  
 喜三郎家「オンジ」の周辺(19) 藤島喜八郎  
 村の女たちの美意識 野良着に魅  
 せられて(30) 袖無し(6) 資  
 料とその解釈 福岡 サヨ  
 カラマツコ(唐松講)聞き書き 津幡 トシ  
 下田平は木戸石村だった 小笠原みつ代  
 鶴形地区の歴史探訪に参加して 澤藤 茂子  
 管内視察(歴史の道ツアー)  
 「研修視察」に参加して  
 ―万葉の植物と対面も 福岡 サヨ  
 初代会長 加藤鉄雄様逝去  
 ◆季刊東北学  
 東北芸術工科大学東北文化研究センター  
 (発売:柏書房) 〒990-9530山形県山形市  
 上桜田3-4-5 TEL023-627-2168 年10000円  
 www.tuad.ac.jp/tobunken/  
 ◇21 2009.11 A5 228p 2000円(抄)  
 《特集 骨越村に日本の原風景をさぐる》  
 座談会 日本の村の〈原風景〉をさ  
 ぐる―西の田染荘と東の骨寺村  
 飯沼賢司／入間田宣夫／赤坂憲雄  
 「陸奥国骨寺荘絵図」の宗教史  
 ―窟信仰と村の成り立ち 菅野 成寛  
 骨寺村荘園遺跡における調査研究  
 と景観保全の軌跡―過去から未  
 来に向けて 小岩 弘明  
 骨寺村所出物日記にみえる干栗と  
 立木について(覚書) 入間田宣夫  
 近世地誌のなかの骨寺・山王窟 菊池 勇夫

芸能伝承と本寺(骨寺)生活史の一  
断面 菊地 和博  
「骨寺村」における寺社への信仰  
—前要害屋敷佐藤家のお札を手  
がかりに 川合 正裕  
“中山間地” 骨寺村の生活  
—近世・近代への展望 竹原 万雄  
古代文学に描かれる「骨」につい  
て 李 恵燕  
エッセイ 木綿のハンカチーフ  
—追悼・玉城政美先生 上原 孝三  
東シナ海の古層(1) 放送考古学  
—〈平島放送記録〉を読む(1) 稲垣 尚友  
エロスとカニバリズム(1)  
河童を見た話 赤坂 憲雄  
アジアの風のなかで(1)  
「日常」を伝える 木村 文  
あの頃のこと(1)  
サムルノリと出会う 金 利恵  
絵はがきに見る東北日本・アジア  
(6) 馬のいる風景 東北文化センター  
自然が人を置いてゆく(時評) 田口 洋美  
海洋資源の利用と保護の理論(書  
評) 森本 孝  
周縁の民の姿追う迫真の民俗誌  
(書評) 川上 隆志  
名物にみる「聞き書き」ちからと  
境界の「食」(書評) 筒江 薫  
連載・写真曼荼羅(4)  
神々の異界 内藤 正敏

◆まんだら 東北文化友の会会報  
東北芸術工科大学東北文化研究センター  
〒990-9530山形市上桜田3-4-5  
TEL023-627-2168 年10000円  
www.tuad.ac.jp/tobunken/  
◇41 2009.11 B5 64p  
巻頭特集 地域とミュージアム

アートができること 斎藤純／赤坂憲雄  
地域へ—新しい波を訪ねる(1)  
地域を活かし切っていくこと  
山形県金山町、産直グループの  
試み 森 繁哉  
考古学者が映画を観ると(1)  
私的映画のアルケオロジー 安斎 正人  
東北芸術工科大学オープンキャン  
パス・歴史遺産学科企画 『と  
なりのトトロ』と民俗学・歴史  
学・考古学 『となりのトトロ』  
の謎に迫る 安斎正人／入間田宣夫  
／田口洋美／赤坂憲雄  
地域を創る広域連携プロジェクト  
内なる光の旅路 六十里越街道  
をゆく 張 大石  
学生たちのフィールドレポート(3)  
飛鳥での発掘調査 海藤 元  
下北・尻屋の浜より 角田 美里  
東北ルネサンス・プロジェクト  
in 仙台 小説家・ライター講  
座レポート  
インタビュー 「池上冬樹の東北  
文学雑感」に寄せて 池上 冬樹  
池上冬樹の東北文学雑感(1) 昭  
和ひとケタの戦争と性愛 岡井  
隆と藤沢周平 池上 冬樹  
特派員レポート(1)  
前衛のアイコン、ダダカン健在  
小池 浩一  
夏の亡霊—しらたかの音楽映画  
塾 早坂 実  
フィールド・ワークの現場から(8)  
養蚕・製糸の灯 岸本 誠司  
地域誌だより(14)  
矛盾し複雑な心情を抱える津軽  
人の内なる太宰治をさぐる 杉山 陸子  
『盛岡学』から映画誕生 滝沢真喜子

自然災害とともに暮らす 千葉 由香  
『会津学』5号と「会津学ゼミナ  
ール」 遠藤由美子

◆山形民俗 山形県民俗研究協議会  
〒990-0826山形県山形市霞城町1-8  
山形県立博物館 秋葉正任気付  
◇23 2009.11 A5 95p 900円  
出羽三山における死者供養・祖霊  
信仰 大友 義助  
王祇神の構造とハヤマの機構—  
「中尊寺落慶供養願文」の意味  
大江 良松  
村山地方の竜女伝説 村田 弘  
大宮子易神像の形態—南陽市の大  
宮子易石女神の形態を中心に 加藤 和徳  
芸能伝承をめぐる地域的・民俗的  
要因—早池峰神楽と真室川神楽  
を中心に 菊地 和博  
六社明神「ダイゴダイゴ」の行事  
—その由来と賄 村山 正市  
飯縄信仰と金羅羅信仰 野口 一雄  
紹介『史料集 ゆくてのすさび  
羽黒山日記』 難波耕司／岩鼻通明  
県内の主な民俗関係出版物  
山形県民俗研究協議会関連記事

関 東

◆茨城の民俗 茨城民俗学会  
〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16  
TEL029-231-4665 年3000円 1963年創刊  
www.minzoku.net  
◇48 2009.11 B5 91p  
《特集 食》  
日本人と大豆 落合 敏  
茨城の基層食文化を探る  
—東アジア各地の祖型に学ぶ 西野虎之助  
道中記にみる江戸時代の茨城の食

堀切 武  
飯村 保  
照山 洋  
今瀬 文隆  
今瀬 文也  
河野 弘  
松崎健一郎

城里地域の味噌づくり紹介  
郷土料理 二題  
茨城の農産物  
食の民俗考—食生活の変遷  
浜降り祭雑記  
『常陸国風土記』における神樹・  
聖泉  
研究ノート  
納豆／水戸光圀と食事／梅干し

◆茨城民俗学会会報  
〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16  
TEL029-231-4665 年3000円  
www.minzoku.net  
◇62 2010.1 A4 4p  
食文化の充実を 今瀬 文也  
講演要旨 天と地を結ぶ世界観 藤田 稔  
食物に関する職人・商人の一人前  
の民俗慣行 西村 浩一  
常任理事・理事会開催  
幸福をもたらす七福神  
赤城毅彦氏逝去  
民俗学講座『常陸国風土記』  
那賀郡を読む

◆常総の歴史 崙書房出版茨城営業所  
〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5  
TEL0299-24-0595  
◇40 2009.12 A5 110p 1100円  
『和名抄』にみえる常陸国新治郡  
の郷について(6)—巨神郷(3) 久信田喜一  
戦国期佐竹東義久と常陸国山方城  
の位置(上)—佐竹氏の南奥進出  
と境目の城としての軍事・交易  
的機能 高橋 裕文  
かすみがうら市志筑出土の埋藏銭  
間宮 正光

下妻・麻生両藩における鳴物停止  
令 河野 弘  
茨城県の新四国「東福寺桜川八十  
八ヶ所霊場」 近江 礼子  
下館藩の明治維新(2)  
—明治初頭動乱期の藩内事情 上牧 健二  
日本橋生まれの辨財天—石岡市金  
丸町山車人形江戸天下祭へ里帰  
り 長谷川晴彦  
開発と文化財保護のはざま—石  
岡市の埋蔵文化財のゆくえを憂  
慮して 太田 尚一  
郷土の本／受贈図書の紹介コーナ  
ー

◆水戸史学 水戸史学会

〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42  
但野正広方 TEL029-243-6910  
◇71 2009.11 A5 90p  
中世の白山信仰についての一考察  
平泉 隆房  
上州路を駆け抜けた水戸天狗党  
—諸藩・住民と下仁田戦争 大塚 政義  
『大日本史』諸藩伝の構成につい  
て 梶山 孝夫  
水戸史学に於ける仁徳天皇御事績  
の研究 堀井 純二  
史料紹介 吉野山・吉永神社蔵—  
徳川光圀と佐々木介三郎の書翰  
について 但野 正弘  
義公の足跡を訪ねて(18) 住谷 光一

◆鹿沼史林 鹿沼史談会

〒322-0031栃木県鹿沼市陸町287-14  
鹿沼市立図書館内 TEL0289-64-9523  
年3000円 tochigi-vnpo.net  
◇49 2009.12 A5 80p  
鹿沼城御殿場考 杉浦 昭博

芭蕉句碑の建立について 中島 正  
鹿沼市重文『麗澤舎蔵書目録』祭  
談—蔵書目録から見える書物の  
姿 岡田 幸夫  
「藤原町史」補稿(1) 天保6年戸  
田忠温の領内巡見(塩原入湯)と  
街道筋百姓 佐藤 権司  
光明寺鐘と修験道 國立 恵俊  
明治32年7月に開催された真名子  
洞雲寺での書画骨董展覧会 菊地 卓  
ふるさとの野辺に祈る 田村 右品  
昭和13年三笠宮来鹿について 福田 純一  
史料紹介「伊勢参宮道中日記」 高岡 正之

◆那須文化研究 那須文化研究会

〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1  
那須野が原博物館 TEL0287-36-0949  
◇23 2009.12 B5 128p  
「黒羽城鳥瞰図題画記」と「黒羽  
城画幅記」の読み方 大沼 美雄  
忘れられた那須高原の芸術家  
—五十嵐豊の人生と仕事(1) 鈴木 俊策  
〈大田原地区プロジェクト調査報告書〉  
絵葉書で見る那須地方の昔(4)  
—大田原市街地とその周辺 長谷川 操  
写真で見る戦後の野崎駅周辺 久留生利美  
大名家文書(大関家文書)は語る(8)  
—大関増徳宛て江戸幕府老中連  
署奉書 新井 敦史  
地方文書は語る(8)  
—人馬継立引請覚書について 高根沢広之  
新刊紹介 那須野—自然と農村と  
歴史文化／森に学ぶ 那須野営  
場の八年間 中村 悟  
那須地区通信／栃木県文献一覽  
(2008追録)(2009)

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市陸町2-2  
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313  
◇74 2010.1 A4 4p  
《特集 戦国時代》  
宇都宮氏は戦国大名か 江田 郁夫  
東国戦国時代の要害(城郭)構築と  
国衆家内紛との関連性 荒川 善夫  
古文書・古典籍を読む(13) 那須  
資明筆「白旗披露成氏感状外三  
十一通写」「鎌倉御書五十三  
通写」 阿部 能久  
新刊紹介 菊地卓著『シリーズ藩  
物語 足利藩』 小貫 隆久

◆群馬県教育史研究懇談会会報

〒370-0873群馬県高崎市下豊岡町328  
森田秀策方 TEL027-322-0408 年1000円  
1975年創刊  
◇33 2009.8 A4 28p  
巻頭言 『学校沿革誌』の重み—  
下仁田町立青倉小学校の場合 森田 秀策  
特別寄稿 明治中期の群馬県師範  
学校の物理教師たち 高橋 浩  
《特集 ナンバースクールの消長》  
高崎市におけるナンバースクール  
の消長 串田 哲夫  
旧松井田町におけるナンバースク  
ールの消長 石田 和男  
旧榛名町におけるナンバースク  
ールの消長 森田 秀策  
前橋市におけるナンバースクール  
の消長 石田 和男  
高島順吉先生のご逝去を悼む 小屋 幸尚  
記念誌紹介 統廃合による閉校記  
念誌—桐生市立中学校六校 大里 仁一  
『勢多農林百年史』

◆ぐんま地域文化 (財)群馬地域文化振興会

〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26  
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346  
◇33 2009.11 B5 40p  
《藤岡市地域特集》  
歴史を掘る 上野国新田郡庁跡 小宮 豪  
「自然と人間」について憶う 木島 俊介  
藤岡地域の発掘情報 東日野金井  
城跡の発掘調査について 田野倉武男  
図録 ぐんまの文化財 中島 誠  
ぐんまの歴史入門講座  
第105講 縄文時代後晩期集落  
景観と構造—藤岡小野地区遺  
跡群を中心として 経部 達也  
第106講 万福寺に伝わる南蛮  
絵と切支丹 志村 哲  
第107講 蚕種販売差止め事件 飯塚 寿男  
第108講 多野郡の変遷 浅見 靖幸  
第109講 藤岡市の石造文化財  
石造文化財の見方(22) 秋部 武  
古文書解読入門講座(20)—古文書  
から歴史を読む 宝篋印塔請負  
証文から 飯塚 寿男  
座談会 ぐんまの戦後史を語る  
群馬県の道路・橋梁建設事業(1)  
内山道美／山本肇／山口敏夫  
／武井上巳／矢嶋雅夫／岩崎  
芳次／飯塚敬／山本世紀  
地域づくりと文化遺産 指定文化  
財を活かした文化財保護の取り  
組み 寺内 敏郎  
ぐんまのくらしと民俗  
三嶋神社と夜祭り 志村 哲  
ぐんまの川と生活  
藤岡市の川と生活 澤口 宏  
ぐんまの人物誌 菊川英山 茂木 努  
ぐんまの郷土芸能

土師神社の花馬と流鏝馬 伊藤 実  
研究・学習サークル活動紹介  
藤岡古文書を読む会 飯塚 寿男  
出版情報 藤岡市刊行物の紹介 井上 勉  
ぐんまの自然と風土 ぐんまの自  
然と風土 箱庭のような三波石  
峡 飯島 静男

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8  
小池照一方 TEL027-251-7660

◇72 2009.12 B5 4p

八ッ場・ヤツバ・ヤンば 澤口 宏  
文化財保護の必要性など学ぶ 前  
橋で群馬地名研総会と記念講演  
／消えゆく地名由来探り20年  
採集・記録し、語り継ぐ

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立  
文書館内 TEL027-221-2346 年4000円

members.jcom.home.ne.jp/yctanaka/

◇301 2010.1 A5 98p

随 想

私の歴史履歴—太平洋問題調査  
会と渋沢栄一 片桐 庸夫  
古文書研究と史料刊行のむづか  
しさ 小山 友孝  
昭和初期キリスト教を受け入れた  
人々—福音伝道協会機関誌の信  
者の証言を中心として 福田 博美  
新田義貞論—政治の変遷が生んだ  
光と影 千本木智明  
幕末・明治期における蝦夷地／北  
海道開発と内地—定住促進政策  
を中心に 佐藤 匠  
「箕輪城シンポジウム」の報告 秋本 太郎  
神流川流域最上流部に位置する後

期小古墳の一樣相—藤岡市鬼石  
原古墳の調査から 徳江秀夫／長谷川博幸  
博物館・美術館めぐり  
群馬県立文書館  
書評 よみがえる考古学者 相川  
龍雄—『上毛考古学論考集』の  
刊行に寄せて 峰岸 純夫  
新刊紹介

杉仁著『近世の在村文化と書物  
出版』 藤井 茂樹  
関口覚著『昭和前期土地改良事  
業展開と農民対応版』 田中 修  
井上公夫著『噴火の土砂洪水災  
害』 関 俊明  
前沢和之著『古代東国の石碑』藤森健太郎  
近藤義雄著『群馬の浄土信仰』山本 世紀

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1  
TEL027-223-2785 年4500円

◇212 2010.1 A5 64p

《特集 安中市》

美しき郷 安中市 花／自然／歴  
史／温泉／祭(イベント)

安中市商工観光課  
安中の蚕の神 阪本 英一  
小測しちものがたり(2)  
小測しちの生涯(1) 古屋 祥子  
高山彦九郎日記による歴史散歩  
(20) 『乙未の春旅』(9) 正田 喜久  
日帰り温泉ぶらり旅(13) 前橋荻  
窪温泉「あいのやまの湯」の巻

田口 正美  
れきさんサロン  
岡田昭二／高島美幸／大崎岸子／  
平田経子／光山富士子／西山由子  
絵手紙で歩く 上毛かるた(35) 小林 生子  
群馬の陶磁器 小山 宏

柱野前川紀事之碑一考(1) 石山 幸宏

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1064-4

◇120 2009.12 B5 4p

西の彦部と東の彦部 菱沼 一憲  
ジャンボンまわりは時計まわり 板橋 春夫  
第86回例会記事

◆郷土はとがや 鳩ヶ谷郷土史会

〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21

花岡武司方 TEL048-281-3509

◇64 2009.11 A5 104p 1000円

巻頭言 崇高な思いと不撓不屈の  
精神が求められた赤紙配達人  
現代より後世へ伝え残したい人を訪ねて(1)  
鳩ヶ谷の自然農法探求実践者！  
鳩ヶ谷市南四丁目 加藤隆治さん同時代史  
探訪書留部会  
課題原稿・恩師の思い出  
鳩ヶ谷小学校と青雲会 嶋田 文子  
私の戦中・戦後の小学校時代 花岡 武司  
自分史で語る鳩ヶ谷現代史  
私の鳩ヶ谷原風景  
—終戦前後の思い出(上) 金井 英一  
議員の役割は市民要望実現・議  
員発言は要求実現の出発点 鈴木 務

鳩ヶ谷郷土史会見学会参加記

見沼の自然と文化財を訪ねて 篠田 常子  
郷土史会歴史散策資料纏 吉田 雅夫  
鳩ヶ谷史譚(8)

続・昼間吉太郎町長に物申す 平野 整  
古文書・文献による歴史研究 玉  
龍山保正寺(法性寺)二世震龍景  
春禪師と震龍派(3) 若松 哲夫  
鳩ヶ谷の生物(11) 緑の多い住宅  
地に進出するオナガ 藤波不二雄  
市文化財だより(15) 発掘でわか

った鳩ヶ谷の歴史(10) 陶磁器  
の流通に見る中世の発展 浅野 信英  
歴史随想

魚供養碑を見て感じたこと 藤波不二雄  
ウクレレと私 千石 栄  
去る者は日々に疎し 高瀬 博  
松代大本営は暗闇の中にあった  
乗橋 猛

新刊紹介 川口・鳩ヶ谷・岩槻の

本九冊 スモール.h.グテイ  
小谷三志をめぐる人々(61)  
小谷三志研究史上の人々(4) 岡田 博

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会

〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方  
TEL049-281-4983 年4000円

◇300 (56-4) 2010.1 A5 48+86p

《創立80周年記念号》

創立80周年記念式典・講演・祝宴  
記念論文 武蔵と物部—東山道か  
らの進出 森田 悌  
武蔵七党の一、野与党について 岩井 茂  
河越城代大道寺氏の研究(3)  
—史料編年でみるその実像 大圖 口承  
埼玉県における小学校運動会の変  
遷に関する一考察(上) 石井 昇  
権田直助生誕200年 内野 勝裕



『埼玉史談』と稲村坦元先生の思  
い出 斎藤 貞夫  
第607回 公開講演会  
第608回 創立80周年記念式典・  
講演・祝賀会  
埼玉史談 分類総目録・著者別索  
引・地域別索引／埼玉史談 逐  
次総目録 第47巻第1号～第54  
巻第4号

\*埼玉史談会が創立から80年を迎え、昨年10  
月に記念式典、記念講演会、祝賀会が催され  
た。昭和4年から埼玉郷土会として活動して  
きた同会は、戦時下の昭和17年9月をもって  
中断するが、25年に、後に名誉会長となる稲  
村坦元氏らの奔走によって、埼玉県郷土文化  
会として再開し、大きく発展して今日に至っ  
ている。この間、機関誌は、「埼玉史談」、「武  
蔵野史談」、「埼玉史談」と変遷し、本号で通  
巻300号を数える。本号には、編集に5年の歳  
月を要したという分類総目録と著者別索引、  
地域別索引が掲載されている。分類は総記、  
歴史、考古、学術・芸術・教育、産業、民俗、  
人物、神社・寺院、その他に大別され、各項  
の中は、たとえば歴史であれば、通史、古代  
から現代まで細区分されるなど詳細を極めて  
いる。でき得れば、著者別索引と地域別索引  
にも、巻号だけでなく論文名も参照させて欲  
しかったが、80年の研究の蓄積がこのような  
形で体系化されることは、大変に意義あるこ  
とであると思う。

#### ◆日本の石仏

日本石仏協会（発売：青娥書房）  
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29  
TEL042-971-6512 年8000円  
www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/  
◇132 2009.12 A5 80p 2100円  
巻頭随想 石仏の受難に思うこと

坂口 和子  
《特集 庶民信仰の石神・石仏》  
石仏からみた庶民信仰—群馬県高  
崎市寺尾町館を事例に 時枝 務  
最上川から来た虫神様・仙人権現  
石田 年子  
天神・雷神 佐藤不二也  
船霊さまは中国の媽祖神 筒井 隆義  
安房の石神二題 綿打神と虫神 早川 正司  
甲州の味噌なめ地蔵 佐藤 勝廣  
職人の聖徳太子信仰 中上 敬一  
生産神としての馬頭観音 栗田直次郎  
論考 画像碑の鑑賞 嘉津山 清  
「石」を知る(22) 小松 光衛  
石燈籠入門(42) 嘉津山 清  
石仏写真と私(22) 杉本 康希  
あ・ら・か・る・と—私の石仏案内  
西澤寛晃／中森勝之

会員の広場  
黄瀬三朗／村上昭彦／森永五郎／関口涉  
石仏交流  
第83回見学会報告 千葉県野田市  
・関宿城下の石仏 三代川千恵子  
一泊見学会報告  
伊豆半島縦断・石仏巡り 中森 勝之

◆ぶい & ぶい 無為無為 日本史料研究会  
〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860 武蔵  
野学院大学国際コミュニケーション学部  
神野潔研究室 TEL04-2954-6131 2008年創  
刊 www17.plala.or.jp/t-ikoma/

◇11 2009.12 A5 16p  
金泥と大般若経  
—中世の縁起と説話から 加増 啓二  
延元三年の嵐について 永井 晋  
コラム 文士 細川 重男

◆富士山遺文拾遺 まるはとだより発行所  
〒334-0013埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5  
岡田博方 TEL048-281-4118

◇45 2009.12 B5 8p  
古今東西宝語(45)  
世界がオバマ氏を助ける必要  
大島有隣先生御説経開扉(42)  
『道歌集』文政元年盛夏六月 岡田 博  
有縁機縁録 新刊紹介 鳩ヶ谷郷  
土史会『郷土はとがや』第64号  
／藤波不二雄編集発行『鳩ヶ谷  
博物誌』

◇46 2010.1 B5 8p  
古今東西宝語(46)  
ガンジーやキングのような  
大島有隣先生御説経開扉(43)  
『道歌集』文政元年盛夏(2) 岡田 博  
有縁機縁録 新刊紹介 秋山高志  
著『水戸の文人』—近世日本の  
学府／沼口信一著『瞎驢記 三』

#### ◆富士山文化研究会会報

〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1  
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円

◇28 2009.11 B5 8p  
平成21年度総会／代行就任あいさ  
つおよび状況報告  
追悼 小林謙光氏 大野 一郎  
見学会報告 茨城の富士信仰—永  
井路子の家伝書から  
企画展紹介 新宿歴史博物館所蔵  
資料展 富士講の世界／開山  
580年遠忌 月江寺展—富士北  
麓禅の美術  
富士山関連文献紹介  
富士塚考 竹谷鞆負著 中嶋 信彰  
すその路5号 富士山周辺の災  
害と対応—地域の古文書を通

して  
◆郷土史研通信 八千代市郷土歴史研究会  
〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10  
牧野方 TEL047-484-9728 年3000円

◇68 2009.11 A4 4p  
平成21年度市民文化祭展示案内  
八千代八福神創設20周年「八福神  
の見どころ」八千代八福神創  
設とご案内 村田 一男  
今までに巡った七福神 事務局  
研修旅行  
丑歳御縁年出羽三山の旅 事務局  
長妙寺に残る悲痛な墓碑 佐久間弘文  
子規庵散歩 関和 時男

◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会  
〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10  
牧野光男方 TEL047-484-9728 年3000円  
◇34 2009.11 B5 91p

〈特集 旧平戸村の総合研究Ⅱ〉  
安養山東照寺について 滝口 昭二  
平戸河岸研究の覚え 牧野 光男  
利根川舟運のなかの平戸河岸 佐藤 二郎  
平戸「中臺鴻亮」氏の除隊記念道  
標と氏の書跡 佐久間弘文  
植草兵左衛門の頌徳碑について

小菅俊雄／園田充一  
平戸村旗本領主の研究 菅野 貞男  
平戸領主・松平新九郎直正の諸国  
巡見 島山 隆  
〈特集 八千代八福神創設20周年〉  
八福神めぐりと歴史探訪

八千代市郷土歴史研究会  
八千代八福神めぐり巡拝略図  
八福神の見所 小池 妙光寺(吉祥  
天)、真木野 妙徳寺(大黒天)、  
保品 東栄寺(福祿寿)、光本 長

福寺(弁財天)、村上 正覚寺(毘沙門天)、萱田 長福寺(寿老人)、吉橋 貞福寺(恵比寿)、高津 観音寺(布袋尊)

研修旅行レポート 丑歳御縁年秋の出羽三山めぐり

研修旅行記前文 村田 一男  
玉川寺～斎館・出羽三山歴史博物館 三橋 俊一  
荒澤寺～かたくり温泉 成瀬摩希子  
大日坊～湯殿山神社 巖 由美

史談八千代第2号 勝田の総合研究 地名研究補遺 八千代市の中の下志津原演習場 滝口 昭二

◆千葉史学 千葉歴史学会  
〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111 年4000円  
history.lchiba-u.jp/~chibareki/  
◇55 2009.11 A5 121p (抄)  
巻頭随想  
移行期からみた日本近世 渡辺 尚志  
歴史随想  
上総鹿見塚考 遠山 成一  
虚無僧の風体について 長谷川佳澄  
宮崎宏の日記を読んで 中澤 恵子

不振農業協同組合の再建—終戦時～昭和30年代の千葉県山武郡を例に 海老沼宏始

戦国期の小見川と穂徳寺—宗教と経済活動分離の側面 横田 光雄  
戊辰戦争期における上総国農村の「佐幕」的動向 宮間 純一

結城合戦前後の扇谷上杉氏—新出史料の紹介と検討を通じて 木下 聡  
書評 渡辺尚志著『惣百姓と近世村落—房総地域史研究—』 荒木 仁朗  
新刊紹介 小森正明著『室町期東

国社会と寺社造営』 川本 慎自  
千葉歴史学会第28回総会・大会報告

◆東京湾学会誌 東京湾の水土  
〒260-8682千葉市中央区青葉町955-2  
千葉県立中央博物館 筑紫敏夫気付年5000円

◇12 (2-6) 2008.3 B5 20p  
船橋地域での日蓮聖人の足跡 長谷川芳夫  
青堀・人見浦での木篭から竹篭への年代と民俗 川名 興  
君津市におけるクロマツ林からマテバシイ林への変化 川名興/坂井昭  
八剱神社例大祭 川島 信克  
東京湾だより

◇13 (3-1) 2009.3 B5 32p  
千葉県の里海の漁業とくらし(1)  
—南房総市富浦町 川名 興  
「里海・里海」「里山梅」と「奥山」「大灘」 中村 俊彦  
馬だし祭り(富津市)  
—神の乗る馬の祭り 高橋 克  
船橋漁港の水神祭 川島 信克  
上総鉄道構想—夢の鉄道 小沢 洋  
東京湾だより

◆房総 川城文庫・藩政史研究会  
〒299-4311千葉県長生郡一宮町白山8-7  
TEL0475-42-3034  
◇128 2010.1 B5 8p  
和算と算額 郷土の人を見る 川城 昭一

◆房総石造文化財研究会会報  
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3  
石田年子方 TEL04-7196-3375 年3000円

◇104 2010.1 B5 6p  
中山道板橋宿の石仏見学会報告 土井 照美

会員の動き  
資料紹介  
小見川の石造物—西地区編  
会員寄稿 鈴見の子安講と根本寺 三代川千恵子  
旧山田町石仏調査(4) 山影の寺跡・長谷寺と大阿闍梨法印惠潭 石田 年子

◆房総の石仏 房総石造文化財研究会  
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3  
石田年子方 TEL04-7196-3375 年3000円

◇19 2009.12 B5 44p  
刊行の言葉  
研究会発足30周年を迎える 沖本 博  
地方文書に見る石仏の造立と撤去 小倉 博  
松戸に遺る大師像「秀海講」 入谷 雄二  
市川市・安政の地震風難供養塔に よせて 石田 年子  
佐倉周辺の社日塔—五社様—について 田中 征志  
富里の石仏 木原 律子

◆松戸史談 松戸史談会  
〒270-0021千葉県松戸市小金原7-10-20  
松田孝史方 TEL047-342-1764 年5000円

◇49 2009.11 B5 107p  
ごあいさつ 松田 孝史  
「水戸街道と馬橋」について 神尾 武男  
昭和恐慌の中の松戸  
—新川開削とその余波 末満 宗治  
小金城主高城氏関連の三つの史料を考える 田嶋 昌治  
ごろが池弁天さまと野馬奉行 山中 健司  
万葉集に詠われた女性 植田由紀子  
松戸根本「清水講」開講年代について 山室 功

戸張傳兵衛と小田原城 塩尻 英児  
五香六実いまむかし(4) 及川 ふじ  
坂川の源流から河口まで 小宮山榮一  
松戸宿小森家の謎  
庄蔵のその後(1) 辻 淳  
明治維新の礎、竹内廉之助(1) 松田 孝史  
北条早雲の里を訪ねて 国定美津子  
松戸史談会に寄せて 田川 健一  
第60回松戸市文化祭参加  
文化講演 江戸時代に松戸にあった小金牧 青木 更吉  
伝統芸能 大正琴・琴生流新弦の会 二本木順子  
松戸史談会講演会  
松戸の弥生時代・古墳時代 嶋村 篤  
地域を歩いて 田嶋 昌治  
松戸史談会会員勉強会(要旨)  
將軍御休憩所の松籠寺について 花輪茂道氏  
水戸道中境界の史跡と伝承考 平久保久雄  
文化財標識柱についての一考察 山中 健司  
松戸史談会主催史跡めぐり(記録と解説)  
追悼 秋本勝造相談役 松田 孝史  
元会長・相談役秋本勝造さん追悼 末満 宗治

◆アーカイブズ 独立行政法人国立公文書館  
〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2  
TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp  
◇37 2009.10 A4 206p  
《特集 公文書等の管理に関する法律》  
公文書等の管理に関する法律の制定までの経過を回顧して 菊池 光興  
公文書等の管理に関する法律成立にあたってのメッセージ  
「公文書等の管理に関する法律」

地方自治体の取り組みに向けて  
秋池 武  
待望の法律公布に思う  
高埜 利彦  
「公文書管理法」と歴史学研究  
中野目 徹  
公文書管理法の意義と課題  
三宅 弘  
座談会 公文書等の管理に関する  
法律制定と今後の展望  
浅倉敏夫／尾崎護／御厨貴／  
高山正也／司会・山崎日出男  
「公文書等の管理に関する法律」  
について  
中原 茂仁  
公文書等の管理に関する法律（本  
則、附則、附帯決議）  
国会質疑—第171回国会における  
公文書管理法関連—平成21年3  
月～7月  
公文書管理・公文書館に関する提  
言・意見書、論文・著書、講演・  
報告、報道等  
◇38 2010.1 A4 82p  
館長挨拶 国立公文書館マニフェ  
スト—2010年代のアーカイブズ  
像  
高山 正也  
世界の公文書館を巡る動向と日本  
の課題  
菊池 光興  
国際公文書館会議東アジア地域支  
部(EASTICA)第9回総会及び  
セミナー等の概要  
梅原 康嗣  
危機とアーカイブズ—日本におけ  
る公文書管理法の制定とその背  
景 EASTICA2009カントリー  
レポート  
21世紀のアーキビストを考える 教育・研修  
の新戦略—第41回国際公文書館円  
卓会議参加報告  
小原由美子  
日本資料専門家欧州協会(EAJRS)  
第20回年次総会参加記  
平野 宗明  
裁判所が保有する歴史公文書の移

管  
長谷川久美／有井広光  
司法院から国立公文書館への公文  
書の移管について  
依田 健  
新館開館五周年を迎えた広島市公  
文書館  
池本 公二  
川崎市公文書館の近況—歴史的公  
文書等の情報提供制度の再構築  
を中心として  
秋田 達也  
企業史料協議会(BAA)のご紹介  
浮田 清孝  
国立公文書館ニュース

◆解放研究／明日を拓く  
東日本部落解放研究所  
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5  
TEL03-5603-1861 1993年創刊  
◇23/81 (36-1) 2009.9 A5 272p 2100円  
「武州鼻緒騒動」関係史料集成(前)  
間々田和夫／大熊哲雄／畑中敏之  
史料目次・解題／越長騒動記(根岸  
家本)／穢多騒動記(町田家本)  
／穢多駈騒動記(弓削多家本)／  
穢多駈騒動記(石川家本)／穢多  
騒動始末記(佐左衛門家本)／裁  
許状(平山家文書)／裁許状(杉  
山家文書)／岩殿山天水釜奉納  
寄進附(半三郎家文書)／越生今  
市村喜兵衛願書(森家文書)／越  
生今市村喜兵衛引き札(半三郎  
家文書)／片柳村始末書(関口家  
文書)／入間川村村役人請書(杉  
本家文書・再録)／穢多一件御  
出役人用(武内家文書)／御用掛  
り控帳(奥富家文書)／小室家日  
記(小室家文書)／鈴木家日記  
(鈴木家文書)／大徳家日記(大  
徳家文書)／年代記(石井家文  
書)／刑憲輯要(旧黒川文庫)  
多摩地域の被差別部落関係史料と

若干の考察  
小島 正次  
青梅地域の長史・非人とその旦那  
場  
大熊 哲雄

◆あしなか 山村民俗の会  
〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17  
サトービル TEL03-5663-6748 年5000円  
www.8.ocn.ne.jp/~sanmin/  
◇287 2009.11 B5 24p  
《特集 災害と民俗伝承》  
地震・噴火と予知—前兆現象の実  
体験と先人の伝承  
松崎チヨ子  
富士山雪代と山麓農民—江戸後期  
史料に見る雪崩災害への対応  
竹谷 鞆負  
母と私の地震体験記  
—関東大震災と十勝沖地震  
小海 敏雄  
大正大地震と村の子ら—伊豆東海  
岸・宇佐美尋常小学校全生徒の  
記録から  
岡倉 捷郎  
あしなか通信番外編 山登りと私  
の『あしなか』—再入会にあた  
って  
清水 米一  
“クロカゼ”のこと  
—土佐・佐川町  
岩田 英彬

◆足立史談  
足立区教育委員会足立史談編集局  
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
◇502 2009.12 A4 4p  
鷹と火消—新年の出初式に向けて  
内山 大介  
牛田について(2)  
平野宗一郎  
都市近郊の農産物を追う(24)  
しめ飾り(3)  
萩原ちとせ  
◇503 2010.1 A4 4p  
江戸の菜園を支えた村々—湖江領  
・葛西領の農民と御前裁畑  
多田 文夫

牛田について(3)  
平野宗一郎  
都市近郊の農産物を追う(25)  
しめ飾り(4)  
萩原ちとせ

◆足立史談会だより  
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
◇261 2009.12 A4 4p  
コラム教育史料 終戦直後の日本  
の教育(96) 新教育指針 第六  
章結論  
堀川 和夫  
足立区の登録文化財を観る 旧和  
井田家住宅(母屋)一棟、旧薊  
家住宅(納屋)一棟、花畑大鷲  
神社獅子舞  
編集部  
11月世田ヶ谷等々力探訪報告  
◇262 2010.1 A4 4p  
刷新の年にしよう  
安藤 義雄  
コラム教育史料 終戦直後の日本  
の教育(97) 新教育指針 第六  
章結論  
堀川 和夫  
足立の登録文化財を観る 鹿浜獅  
子舞、じんがんなわ、石出掃部  
亮吉の墓 一基  
編集部  
冬期区民教養講座報告  
近代医学の黎明を告げる解剖人墓  
の修復

◆あるむぜお  
府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館  
〒183-0026東京都府中市南町6-32 TEL042-  
368-7921 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/  
◇90 2009.12 A4 8p  
シリーズ世界天文年(3)  
銀河の発見  
本間 隆幸  
展示会案内 特別展—発掘!府中  
の遺跡 国府はいつできたか&  
調査速報  
深澤 靖幸

NOTE 江戸時代行路行倒人事情  
—八幡宿村の場合(2) 療養と  
仮埋葬 花木 知子  
坂本長利「土佐源氏」資料の世界  
(3) 描かれた「土佐源氏」 佐藤 智敬  
最近の発掘調査 L字形をした珍  
しいカマドを発見! 清水が丘  
三丁目 西野 善勝  
小説 探鳥物語(3)  
冬の来訪者たち 中村 武史

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104  
TEL03-5398-2682  
◇256 2010.1 A5 40p  
《特集 戦後回顧》  
成増駅北口印書館通りの昔と今 星野 紀昭  
電気も水道も無かった五十五年前  
の暮らし 泉 貞代  
戦後六十四年の歳月 坂田 宏一  
戦後回顧 若林 清  
成長 猪瀬 尚志  
戦後回顧・志村第一小学校在学の  
頃 木村 榮作  
昭和二十四年小学二年一組の「お  
たより」 大澤 鷹遼  
写真ニュース(16) 郷土芸能大会  
(板橋農業まつり) 井上 富夫  
ひろば「古文書研究部土曜会」に  
参加して 増田 妙子

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12  
加藤恒彦方  
◇371 2010.1 B5 23p  
年の初めに 浦野 要  
武蔵七党(追録) 染谷 鷹治  
ニホンオオカミ、絶滅定説への疑

問 関口 洋介  
鈴木はつ乃さんの奥武蔵便り 奥  
武蔵の近況と会創立60周年への  
祝辞など 鈴木はつ乃  
三度目の熊倉山 町田 尚夫  
新宿、歌声と夜行列車 木本 和男  
09年度 河田賞 / 09年度 山行賞  
/ 09年度 集会賞  
山行報告

◆季刊 Collegio 之潮

〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505  
TEL042-328-1503 www.collegio.jp  
◇39 2009.12 B6 60p 300円  
『江戸・東京地形学散歩』の読者  
のために(3) 日本橋台地・江  
戸前島・日比谷入江 松田 磐余  
小型図紹介(3) 長野県管下之図 山下 和正  
フランス古地図音楽散歩(21)  
メネトリエ通り 関根 敏子  
「駅前花壇」と「ピヤク」 田中 正大  
中西悟堂を歩く(19)  
佐渡島のトキ 西村 眞一  
東京電車線路物語(18) 外堀の中  
・神田川溪谷をゆく J R 中央線  
井口 悦男  
水路敷と銭湯 大石 俊六  
大陸彷徨(5) ロマノフカ行(5) 大堀 英常  
東京文学地図帖 戦後編(22)  
相生橋 槌田 満文  
17世紀シベリアの地図化過程(6) 佐々木路子  
コラム 番外「今年の3冊」

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10  
大澤栄美方 TEL03-3907-0040  
◇94 2009.11 B5 12p  
第322回月例研究会

荒川の船着場の話 斎藤 要  
第323回月例研究会  
神谷地区座談会Ⅱ 領塚 正浩  
寄稿 モーターボート界における  
原田綱嘉氏の役割と功績 領塚 正浩

◆交通史研究 交通史研究会

〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1  
国士舘大学文学部 岡島研究室  
TEL03-5481-3245 www.soc.nii.ac.jp/jstc/  
◇70 2009.12 A5 97p  
《第35回大会共通論題「情報通信と社会変容」  
特集号》  
趣旨説明 常任委員会  
近世出版文化と旅の情報受容 原 淳一郎  
天明浅間山噴火災害絵図における  
写図の特徴 大浦 瑞代  
19世紀イギリスの郵便改革とその  
成果 星名 定雄  
近代新聞と地域 山根 拓  
例会報告要旨 / 巡見紹介 / 展覧会  
情報

◆下町文化

江東区教育委員会生涯学習部生涯学習課  
〒135-8383東京都江東区東陽4-11-28  
TEL03-3647-9111 www.city.koto.eg.jp  
◇248 2010.1 A4 8p  
伝統工芸展2010 開催 / 東京都優  
秀技能者として認定 木工(建  
具) 友國三郎氏  
平成21年度芭蕉記念館企画展 俳  
文学者の写した「奥の細道」—  
久富哲雄のファインダーを通し  
て  
平成21年度 中川船番所資料館  
収蔵資料展  
八百八町調査隊 大江戸を掘る!

—千田遺跡 武家屋敷跡を掘る  
野本 賢二  
江東今昔(8) 中西 崇  
囲炉裏ばた(大石家日記)(10) 東  
京文化財ウィーク2009 東京8  
区文化財古民家めぐりを終えて  
向山 伸子

◆史潮 歴史学会

〒102-0072東京都千代田区飯田橋4-4-8  
東京中央ビル同成社内  
◇66 2009.11 A5 76p 2500円(抄)  
東京都江戸遺跡の穴蔵遺構—低地  
における木製桁形穴蔵と災害 鳥越多工摩  
アジア・太平洋戦争期の内閣機能  
強化・政治力強化に関する一考  
察—内閣委員及各省委員や政務  
官の制度分析を中心に 関口 哲矢  
研究動向 都市の入移民と文化—  
19世紀パリの事例から考える 長井 伸仁  
書評 滝口正哉著『江戸の社会と  
御免富—富くじ・寺社・庶民』小沢詠美子  
新刊紹介  
小金井市史編さん委員会編『小  
金井市史 資料編 小金井桜』  
浦井 祥子  
長谷部弘・高橋基泰・山内太編  
『近世日本の地域社会と共同  
性—近世上田領上塩尻村の総  
合研究Ⅰ』 山崎 久登  
宮本袈婆雄・谷口貢編著『日本  
の民俗信仰』 高木 大祐  
月例研究会報告要旨 山崎久登 / 高山慶子

◆十條村研究 榎本龍治

〒114-0034東京都北区上十条3-29-21  
シェルムアイ303 TEL03-3905-4699  
◇4 26 2010.1 A5 23p

丸参富士講と伊藤参翁 榎本 龍治  
第六天と王子権現—中世王子信仰  
の一形態(9) 十一王子と東光  
院 榎本 龍治  
『伝記聚芳』所収「上野の寺代官  
田村権右衛門」のこと

◆城郭だより 日本城郭史学会会報  
〒174-0056東京都板橋区志村1-35-2-202  
TEL03-3967-1948 年6000円

◇68 2010.1 A4 6p  
小田原城馬出門の復元—櫛形虎口  
の二棟の門、石垣が再現 松永 啓一  
揚北地方の城巡りから  
—史学会秋の見学旅行会より 大橋 健一  
最近の城郭ニュースから 富山城  
埋没石垣の出土／河越氏館址が  
史跡公園に／楠葉台場の発掘調  
査 西ヶ谷恭弘  
最近の注目される城郭関係図書か  
ら 大橋 健一  
各地の城郭研究会活動から／史学  
会活動報告 10月 旅行見学会

◆西郊民俗 西郊民俗談話会  
〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1  
大島方 年2000円  
www11.ocn.ne.jp/~oinari/  
◇209 2009.12 B5 37p  
会津漆器丸物木工協同組合の親王  
講 木村 裕樹  
野生の里芋と弘法伝説 長沢 利明  
茨木の恵美須神 大島 建彦  
妖怪の性格検査試論  
—主成分分析による検証 高橋 成  
岡山県の笠習俗聞き書き(1)・笠  
の設置について—笠の設置場所  
と笠の設置方法 湯浅 照弘

野兎のミミサケ・カタミミ考(上)  
—「野兎のミミにまつわる民俗」  
補遺 天野 武

◆せたかい 世田谷区誌研究会  
〒157-0061東京都世田谷区北烏山3-6-1  
下山照夫方 TEL03-3326-1527 年2000円  
homepage2.nifty.com/mits/kushiken/  
◇61 2009.12 B5 100p 1000円  
せたかい61号の発刊によせて 下山 照夫  
61号発刊に寄せて 瀬村 進  
発刊に際して—「所載目録」の中  
に先人の業績と労苦をみる 古我 照彦  
速水融先生の文化勲章受章を祝し  
て 瀬村 進  
既刊「世田谷」一覧  
所載総目録(復刊第1号～第60号の  
所載目録)  
既刊号掲載寄稿文からの抜粋  
第1号より  
復刊に際して 大場 信績  
『せたかい』に寄せる 細野 七郎  
第20号より 巻頭言 下山 新三  
第35号より せたかい記念号発  
刊に寄せて 下山 新三  
第37号より 世田谷区誌研究会  
会長・副会長勇退さる 風間幸二郎  
第40号より  
『せたかい』40号の発刊に寄  
せて 大場 啓二  
第40号に寄せて 山田秀太郎  
世田谷区誌研究会機関誌『せ  
たかい』40号の発刊にあつ  
て 風間幸二郎  
世田谷区誌研究会の歩み 人見 輝人  
幻庵おぼえ書の経緯について 下山 照夫  
第45号より

第45号発刊を祝して 大場 信秀  
第46号より  
40年前の文集 櫻井 正信  
「区誌研」と私 森 安彦  
第50号より  
『せたかい』50号発刊に憶う 下山 照夫  
「世田谷区誌研究会」の発展  
を寿て 櫻井 正信  
『世田谷人物史』の提唱 森 安彦  
第51号より  
巻頭言「東京で唯一の区誌を  
祝う」 櫻井 正信  
「四三会」と「せたかい」—世  
田谷区誌研究会のルーツを  
求めて 瀬村 進  
コラムから「会誌名『せたか  
い』の由来」「区誌とは何ど  
んなこと」「シンボルマーク  
の説明」  
会報「せいかた通信」について  
瀬村進／横山精太郎  
見学会・研修会・講演会の記録  
見学会(昭和53年度以降)、研修  
会・講演会(昭和61年度以降)  
講演会  
「明治維新の柔構造—幕末五  
大藩の比較」(坂野潤治・  
東京大学名誉教授) 編集部  
「戦時下の大学」(白井厚・慶  
應義塾大学名誉教授) 瀬村 進  
「歴史における自然と人間」—  
災害史の視点から(峰岸純  
夫・東京都立大学名誉教授)  
横山精太郎  
見学会  
「善光寺平の史跡を訪ねる」 山脇 宗久  
午後の史跡散歩「荒川区南千  
住界隈を歩く」 古我 照彦

(城南郷土史研究協議会主催)  
「田園調布界隈を歩く」 古我 照彦  
バス見学会「初冬の甲斐路を  
訪ねる」 編集部  
午後の史跡散歩「花の墨堤  
(隅田川)見学」 編集部  
(城南郷土史研究協議会主催)  
「目黒の古道を歩く」 古我 照彦  
午後の史跡散歩「四谷界隈を  
歩く」 古我 照彦  
午後の史跡散歩「早稲田から  
雑司ヶ谷へ」 編集部  
バスによる史跡探訪の報告  
(川越方面) 附・ツアーに関  
するアンケート集計結果 長澤 猛  
(城南郷土史研究協議会主催)  
「品川歴史館特別展見学と  
講演会」の報告 黒瀬 威  
午後の史跡散歩「下町深川の  
史跡めぐり」 長澤 猛

◆全日本郷土芸能協会会報  
〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク  
ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290  
年2000円 www.jfpaa.jp  
◇58 2010.1 A4 26p  
秋保の田植踊 宮城県仙台市  
年頭のご挨拶 菴谷 利夫  
平成22年度行事予定／芳賀日出男  
氏がオーストリア大統領より勲  
章を受章／第12回全国子ども民  
俗芸能大会／第13回全国獅子舞  
フェスティバル・飯田市  
平成13年度国際民俗芸能フェステ  
ィバル  
娘義太夫「竹本津賀広」(2) 菅野 芳治  
誌上獅子舞フェスティバル 後編  
獅子情報／金津浦浜獅子躍 梁

川獅子躍より初代伝授／獅子暦  
冬の民俗芸能公演／会員行事カ  
レンダー祭暦 2010 1月～4月  
第20回全国地芝居サミット in 長  
浜(滋賀県)／かながわ伝統芸能  
祭 地芝居2010  
地芝居探訪(33) 松浦 鳥夫  
地芝居公演情報 11月～3月  
松平流傍目八目(34)  
歌舞伎がもつ現代性 松平 誠  
民俗楽器(34) ブータンのチベッ  
ト仏教チャムの伴奏楽器 山本 宏子  
誌上講座(58) 世界民族音楽祭  
(WOMEX)祭典とは 中坪 功雄  
良書紹介 大絵馬ものがたり①  
稲作の四季／神と旅する太夫さ  
ん 国指定重要無形民俗文化財  
「伊勢大神楽」

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会  
〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101  
光田憲雄 TEL03-3307-2146  
www.k5.dion.ne.jp/~daidogeji/  
◇197 2009.12 A4 2p 100円  
『風俗画報』が載せる雑業  
江戸市中世渡り種(12)  
◇198 2009.12 A4 2p 100円  
柳(やなぎ) (柳踊り(やなぎうど  
うい))と玉すだれ  
『江戸の大道芸』への言いがかり  
に答う  
◇199 2010.1 A4 2p 100円  
『風俗画報』が載せる雑業  
江戸市中世渡り種(13)  
◇200 2010.1 A4 2p 100円  
人造富士／創立15周年記念イベ  
ント開催

◆多摩地域史研究会会報  
〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2  
文化財COM内 TEL042-521-0186  
◇92 2010.1 B5 14p  
第69回例会報告 多摩の中世城館  
を歩く 勝沼城 西股 総生  
立地と景観から考える多摩の中世  
(前期)寺院—江戸期の地誌・絵  
図と近代地形図を手がかりに  
(11) 馬場 喜信  
新刊紹介

◆地方史研究  
地方史研究協議会(発売:岩田書院)  
〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5  
名著出版内 TEL03-3816-0739 年6600円  
◇342 (59-6) 2009.12 A5 98p 1143円  
日露戦後の町村合併問題  
—石川県の事例から 山本 吉次  
鎌倉前期における谷の開発と畠地  
—備中国新見荘を題材にして 渡邊 太祐  
寛永巡見使国絵図の記載内容とそ  
の成立時期—美濃国を事例とし  
て 永井 哲夫  
「Archives Japan 50—アーカイブ  
ズ学からの照射—」参加記 大石三紗子  
日本歴史学協会報告 佐藤 孝之  
「公文書等の管理に関する法律」  
の成立によせて 学術体制小委員会  
展示批評 国立公文書館展示「旗  
本御家人—江戸を彩った異才た  
ち—」 坂本 達彦  
研究例会報告要旨 丸島 和洋  
田中喜男氏の訃 村上 直

◆東京産業考古学会 東京産業考古学会  
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403  
多田統一方 FAX03-3964-8548

◇80 2010.1 B5 12p  
第14回 TICCIH フライベルグ会議  
参加印象記 山田 大隆  
東京産業考古学講演会「日本の金  
銀」の概要報告 田口 勇  
博物館案内 弥永北海道博物館／  
第6回理事会の議事概要／福島  
第2原子力発電所見学会／産業  
遺産 松根油釜／第7回理事会  
の議事概要  
食肉市場見学記 濱野 恒雄  
研究所めぐり 多田 統一  
赤煉瓦探訪(27) ブリック・マイ  
スター—鬼頭日出雄(7) 八木 司郎

◆日本史攷究 日本史攷究会  
〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1  
早稲田大学教育学部1010研究室  
TEL03-5286-1574 年3000円  
◇33 2009.11 A5 107p  
追悼 外園豊基先生  
外園豊基会長のご逝去を悼む 村田 安穂  
外園豊基先生略年譜(附、主要  
業績一覧)  
外園先生から学んだこと・学ん  
でいること 黒田 基樹  
外園先生の思い出 松澤 徹  
恩師・外園先生がくださった道  
標 渡邊 大地  
辞令書から見る古琉球社会 矢野美沙子  
高度成長期における地方都市型青  
年団の組織・活動についての考  
察—武生市域を事例として 高木 重治  
みて、きいて、考える—「自由研  
究講座 世界の中の日本史」の  
実践から 楠木 武  
現場からの声  
自治体史編纂にかかわって 齋藤 悦正

新刊紹介  
千代田区教育委員会・同区立四  
番町歴史民俗資料館編『千代  
田の古文書—区内関連文献史  
料調査報告書—』 青木 俊郎  
鈴木彰・樋口州男・松井吉昭編  
『木曾義仲のすべて』 伊東 和彦  
奥富敬之著『日本家系・系図大  
事典』 松井 吉昭  
書評 滝口正哉著『江戸の社会と  
御免富—富くじ・寺社・庶民—』  
加藤 貴  
史跡めぐり 中世の江ノ島を歩く  
—腰越と江ノ島 上島由希子／渡邊大地

◆日本精神文化 日本精神文化学会  
〒189-0001東京都東村山市秋津町1-12-43  
TEL042-394-5078  
◇19 2009.12 B5 106p  
基調講演  
天孫降臨神話と日向神話 熊谷 保孝  
原始仏教における生(jati)の語  
義に就いて 服部 弘瑞  
研究発表  
牛頭天王—中播磨、市川町での  
展開 今井 登子  
バイリンガリズムの意味と日本  
土井 清孝  
端堂法厳律師—その法脈と画業  
北川 清仁  
八幡大神の神託に関する一考察  
—大仏造立助成の託宣をめぐ  
って 今林 義明  
吉田兼好の生死観 新保 哲  
ソクラテスの「測り難さ」をめ  
ぐって 村島 義彦  
真宗伝道史上における蓮如 高山 秀嗣  
理事官山田顕義報告の人間観—

近代日本人の有機的人間理解  
の一例 長江 弘晃  
特別寄稿  
福澤諭吉における「技術者倫理」  
の先駆的思想 笠井 哲  
戦艦大和の最後—神のご加護 大村 茂良  
書評 新保哲著『日本人の生死観  
—日本文化の根源求めて—』 岩瀬 誠  
第19回精神文化学会報告

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31  
吉越正博方 TEL03-3996-4454  
◇325 2010.1 A4 4p  
能楽余聞 酒にまつわる謡曲 木曾 賢隆  
「服部半蔵幸隆」人物考(7)—高松  
慶寺の仁王像銘をめぐるM氏書  
簡によせて 日向康三郎  
昭和史雑感  
昭和天皇と将軍達(8) 鎌田 茂男  
平成21年実施報告

◆練馬古文書研究会会報

〒177-0053東京都練馬区関町4-15-3-603  
鈴木方 TEL03-3920-3627  
www2u.biglobe.ne.jp/~shiba/  
◇43 2009.12 B5 6p  
寛政期の下井草村名主半兵衛につ  
いて 中村 澄雄  
古文書にみる練馬大根(下) 長坂 淳子  
戸外学習報告  
秋の千川上水を歩く 佐々木 賢

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4  
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264 年2500円  
◇89 2009.11 B5 4p  
第89回例会

石神井川と練馬の地形 谷治 正孝  
旧小樽村の二つの久保をめぐる  
地名観察会 女性グループ主催  
徳川 達子  
第11回地名談話会  
谷戸研究グループ報告 後藤 光

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5  
TEL03-5603-1863  
◇76 2009.11 B5 10p  
第23回研究者集會を千葉県佐倉で  
開催  
全体報告 鐘ヶ江晴彦  
「歴史」分科会報告 長谷川敏夫  
「教育」分科会報告 松浦 利貞  
「狹山」分科会報告 内藤 武

◆法華仏教研究 法華仏教研究会

〒114-0014東京都北区田端3-21-1  
TEL03-3821-1819  
◇1 2009.12 A5 202p 2000円  
発刊の辞 花野 充道  
発刊を祝す Jacqueline Stone  
本迹論と原始天台章疏 布施 義高  
明暦の大火(振袖火事)と本妙寺 門谷 東生  
文明と仏典のナゾ 尾崎 誠  
日蓮と「アジール」 山中講一郎  
開かれた日蓮像を目指して 末木文美士  
『興風』と『日蓮仏教研究』 佐藤 博信  
日蓮仏教の再歴史化をもとめて 澁澤 光紀  
古人の跡を求めず、古人の求めた  
るところを求めよ 東 佑介  
オバマ大統領になぜノーベル平和  
賞か 尾崎 誠  
下種論に関する諸問題 田村 芳朗  
温故知新  
日蓮聖人と戒律 船口 萬壽

日蓮聖人の「たこーかしら」に  
就いて 喜田 貞吉  
日蓮聖人の「たこーかしら」に  
就いて喜田博士に 里見 岸雄  
本の紹介 坂輪宣敬博士古希記念  
論文集『仏教文化の諸相』/原  
井慈鳳著『今日の立正安国論を  
考える』/『国体文化』7月号/  
富士学林編『富士学報』第41号  
/堀日亨著『隠れたる左京日教  
師』/『創価大学人文論集』第17  
号・18号/『日蓮仏教研究』3号・  
『興風』20号/『SOME DISPUTED  
WRITINGS IN THE NICHIREN CORPUS』  
ジャクリーン・ストーン著  
編集後記に代えて 日蓮教団にお  
ける学問の現状と課題 花野 充道

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1  
早稲田大学文学部 大日方研究室内  
◇78 2009.12 B5 98p 1500円  
《特集 近代日本の弁護士と社会  
—法と民衆の関係を問う》  
特集にあたって 民衆史研究会委員会  
試験問題からみた代言人像の変遷  
村上 一博  
1920年代の借家人運動における法  
的实践—借家人同盟を中心に 吉川 圭太  
再論・在野「法曹」と地域社会 橋本 誠一  
南北朝正閏問題における歴史観と  
道徳論 廣木 尚  
書評  
高木徳郎著『日本中世地域環境  
史の研究』 木村 茂光  
杉仁著『近世の在村文化と書物  
出版』 福重 旨乃  
大門正克著『歴史への問い/現

在への問い』 大月 英雄  
展示会短評 横浜開港資料館 横  
浜開港150周年記念企画展示「横  
浜中華街150年 落地生根の歳  
月」 眞田 修

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会

〒150-0011 東京都渋谷区東4-10-28  
国學院大学文学部 花部英雄研究室  
TEL03-5466-0224 mukaden.tiyogami.com  
◇29 2009.12 A5 90p  
桃太郎、世界へ行く 花部 英雄  
「巻機山の機姫伝説」の一考察—  
機姫と出会った男性の目り異常  
をめぐって 吉田 裕美  
『重右衛門の最後』における民俗  
学的考察—田山花袋と柳田国男  
内藤 久義  
「追いかけてくるもの」研究  
—諸相と変容 三柴 友太  
女子高生が知っている不思議な話  
関根 綾子  
『公學校用 國民讀本』の昔話資  
料—日本統治下台湾の国語教科  
書と昔話(4) 伊藤 龍平  
紹介 復刻 西川満・池田敏雄著  
『華麗島民話集』 伊藤 龍平  
新刊紹介  
佐伯和香子著『菅江真澄の旅と  
和歌伝承』 小堀 光夫  
久保華著『日本における外国  
昔話の受容と変容—和製グリ  
ムの世界』 高塚 明恵

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒195-8550東京都町田市広袴1-1-1  
国士館大学文学部 勝田政治研究室  
TEL042-736-8134 2004年創刊

www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/  
 ◇6 2009.12 B5 76p  
 「土佐派」の「明治維新観」形成  
 と『自由党史』—西郷隆盛・江  
 藤新平像の形成過程を中心に 中元 崇智  
 清河八郎の顕彰—贈位決定までの  
 過程を中心に 長南 伸治  
 民部大輔大木喬任と明治三年「建  
 国策」 重松 優  
 学界動向 明治維新と佐賀藩 毛利 敏彦  
 新刊紹介  
 西澤朱実編『相楽総三・赤報隊  
 史料集』 岩立 将史  
 町田明広著『島津久光=幕末政  
 治の焦点』 清水 善仁  
 久住真也著『幕末の将軍』 白石 烈  
 大会参加記 函館大会の巡見に参  
 加して 道迫 真吾

◆明治大学博物館友の会会報

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1  
 TEL03-3296-4448 年3000円  
 www.meiji.ac.jp/museum/  
 ◇23 2010.1 A4 10p  
 「展示モノは語らず“されど”…」  
 —展示解説雑感 徳岡 忠夫  
 分科会活動報告  
 小川和紙見学会 本橋 清美  
 「古文書を読む会」15年目を迎  
 えて 関宮勇雄/加藤敏治  
 大英博物館「THE POWER OF  
 DOGU」展 見学記 忽那 敬三  
 当会の活動を映像を見ました！—  
 長野県小県郡長和町歴史ガイド  
 ボランティアメンバーの感想紹  
 介  
 講演会報告  
 古代人の生活意識と死

見学会報告 大森貝塚と鈴ヶ森刑  
 場跡見学会 木戸 孝義  
 遺跡見学会報告 太田・足利の遺  
 跡・旧蹟を訪ねて 平澤 英昭

◆目黒区郷土研究 目黒区郷土研究会

〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13  
 長澤英男方 TEL03-3711-3959  
 ◇659 2009.12 B5 8p 150円  
 10月の見学会報告  
 麻布善福寺から六本木へ 山内美貴子  
 「品川歴史館特別展見学と講演会」  
 城南郷土史研究会主催・当番  
 品川郷土の会 事業部  
 江戸五色不動の謎(9) 田丸 太郎  
 明治二十年・ピール会社創立 橋口 明子  
 会報にみる目黒の昔(25)「自由  
 が丘の昔と今(三)」久利山さ  
 ん/「自由が丘の昔と今(四)」  
 久利山さん 編集部  
 法然上人八百年大遠忌 祐天上人  
 三百年御遠忌 記念事業の進捗  
 を見る 編集部  
 吉良治家の帰国(終) 竹田 務  
 ◇660 2010.1 B5 8p 150円  
 新春を祝して 青木 英二  
 新年のご挨拶 長澤 英  
 路線バスに乗って区内案内(5)  
 (渋71系統)「渋谷駅東口～洗足  
 駅」線の内、月光原小学校前～  
 洗足学園前 平山 元也  
 江戸五色不動の謎(10) 田丸 太郎  
 三田水道みち 橋口 明子  
 会報にみる目黒の昔(25)「自由  
 が丘の昔と今(五)」久利山さ  
 ん/「思い出の自由が丘ごよみ」  
 久利山さん 編集部  
 「柿の木坂の移り変わり」東京オ

リンピック前後から(三十九年  
 前後から平成へ) 柿の木坂町会  
 めぐる歴史資料館一周年企画  
 一旗本が見た幕末 資料展・講  
 演 編集部  
 魅力ある めぐろの観光!  
 めぐる観光まちづくり協会設立

◆小田原史談 小田原史談会

〒256-0816神奈川県小田原市酒匂2-24-13  
 植田方 TEL0465-48-9072 年3000円  
 ◇220 2010.1 B5 28p  
 年頭にあたって 植田 博之  
 蘇我・宗茂そして曾我への一六〇  
 〇年の覚書(1) 市川一郎・清司  
 小田原の郷土史再発見  
 近代学校教育の父・村上珍休 石井 啓文  
 小田原藩浅田兄弟の敵討  
 『孝貞義鑑』散策(4) 鈴木 好  
 旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝  
 奉公袋と 遺書と 赤紙と 戸塚 健一  
 『もうひとつの横浜事件』—浅石晴  
 世をめぐる証言とレクイエム 鳥居泰一郎  
 片岡日記(46) 片岡永左衛門  
 史談再録(10) 小田原の消防と火  
 災(上)『小田原史談』第53号  
 (昭和44年1月号) 清水専吉郎  
 近江路史跡巡りの旅 松島 俊樹

◆鎌倉 鎌倉文化研究会

〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2  
 長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300  
 ◇108 2009.12 A5 106p 1500円  
 『鎌倉年中行事』と海老名季高 長塚 孝  
 安房妙本寺日我と法華問答  
 —「宗論」をめぐる 佐藤 博信  
 英勝寺山門と境内諸堂 浪川 幹夫  
 余録 鎌倉乃記(3)—七里ヶ浜(2)

齊・「昂」「我等」 坂本 俊雄  
 徧界一覽亭 橋本 虚舟  
 『鹿山公私諸般留帳』(39) 三洲美恵子  
 神奈川の窓(25)  
 —「地方史研究」から 井上 隆男

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-  
 19-104 寺田兼方方  
 ◇117 2009.12 B5 20p  
 雑感「博物館」 山田 正紘  
 酔龍愚見録(14) 澤田大太郎  
 08年藤沢市・隣接市町考古関係主  
 要出版物一覽(下) 上田 薫  
 さば神社を考える(10) 西村堅一郎  
 8月例会の見学に参加して 五十嵐美代子  
 “発掘された日本列島2009”見学記  
 神藤 泰敬  
 記念講演「縄文時代の藤沢」を聴  
 講する 米 諄  
 もののふの来た道 高山 章子  
 寺田兼方先生の記念講演会「縄文  
 時代の藤沢」に参加して 白勢 順子  
 横穴墓往還(5)—長柄横穴墓群 上田 薫

◆全国地名研究交流誌 地名談話室

日本地名研究所  
 〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10  
 川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106  
 www8.ocn.ne.jp/~timeiken/  
 ◇25 2009.8 B5 8p  
 『「オトモ」地名特集号』  
 主として東北に散在する「オトモ」  
 地名の調査と報告/村崎先生の  
 オトモ地名  
 青森県のオトモ地名 島脇 芳勝  
 秋田県のオトモ 土肥 稔  
 岩手県内のオトモ 小林 紘一

宮城県内のオトモ 村上俊則／渡辺恒子  
紙上参加 菅原 進  
群馬県のオトモ地名 角田賀津三

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10  
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1191  
www8.ocn.ne.jp/~timeiken/

◇71 2010.1 B5 8p

遠野大会に向けて 谷川 健一  
“熊野人”を探る 田中 弘倫  
八戸での秋の研究大会 太宰 幸子  
恐山と宇曽利湖の地名考 大八木 昭  
難読地名「葛都」と新田開発 若月 紘一  
熊本地名シンポジウム in 川尻で  
の谷川先生の講演「川尻と宋と  
の交流」

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60  
青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円

◇26 2009.12 A5 98p 500円

足柄学講座 山北編(3) 藤井 良晃  
ハコネコメツツジ遺聞 その発見  
と記載までの経緯をめぐって 田代 道彌  
ボクの映画館(6) 『虎の尾を踏む  
男たち』とエノケン 平倉 正  
有岡城と荒木村重の一族 今川 徳子  
中国の天・日本の天  
—尊徳の天道・人道論の背景 尾上 武  
酒匂だより 初冬 町田紀美子  
武者小路実篤と城米彦造 岸 達志  
足利周辺の碑文を探る(9) 最良  
寿の歴史の語り部—その他諸々  
の石造物考 平賀 康雄  
狐でなく人間に騙された話  
—那須「殺生石」での出来事 佐宗 欣二

村芝居よオー(3) 農村歌舞伎に  
は華がある—湖西市「農村歌舞  
伎まつり」 本多 博  
亀右衛門咄(3)  
府内谷津村の相撲興行 青木 良一  
自由律俳句入門講座(2) 自分が  
なくなったらええものができる  
井上 敬雄  
近代神奈川の書籍文化(2)  
貸本屋の取扱品目 高野 肇

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所  
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
TEL045-481-5661 年3500円

◇501 (42-9) 2009.12 A5 24p 350円

三宅八幡神社奉納 子育て祈願絵  
馬について—平成20年度国指定  
重要有形民俗文化財 村上 忠喜  
民具短信  
草霊の眩き—ムラサキツユクサ  
の伝承 小川 直之  
「会津蠟燭」について 佐々木長生  
書籍紹介  
『会津若松市史』全25巻26冊 野口 信一  
◇502 (42-10) 2010.1 A5 24p 350円  
鈴木式轆轤の普及と担い手の顕彰  
—明治後期・大正期の福島県会  
津地方を中心に 木村 裕樹  
行衣と太鼓袋  
—身延山輪番団参にあたって 立花 弥生

◆悠久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)  
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31  
TEL0467-22-0315

◇118 2009.12 A5 98p 680円

《特集 日本の庭Ⅱ 仏の庭》

口絵 重文 称名寺絵図  
エッセイ 小さな狭い土地 黒井 千次  
神の庭から仏の庭へ 伊藤ていじ  
『作庭記』の世界 飛田 範夫  
浄土庭園の思想とかたち 進士五十八  
池庭から枯山水へ 小野 健吉  
禪の庭の構想と思想 枅野 俊明  
小論文 和歌と作庭 内藤まりこ  
コラム  
造園業者の草木観と草木供養 高木 大祐  
八幡宮紹介 海上八幡宮(千葉県  
銚子市柴崎町)

中 部

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050  
新潟大学人文学部史学研究室内  
TEL025-262-6830

◇62 2009.11 A5 85p 1000円

『ユダの福音書』が提示するユダ  
像の問題 青木祐一郎  
田中正造の「無学」をめぐる一考  
察 商 兆琦  
木村家文書にみる越後荒川往還船  
と造船技法 池田 哲夫  
書 評  
天野弘之・井村哲郎編『満鉄調  
査部と中国農村調査—天野元  
之助中国研究回顧』 陳 祥  
十日町市郷土資料双書15『縮問  
屋 加賀屋の世界—古文書か  
ら読み解くふるさとの歴史』山本 幸俊  
第58回新潟史学会研究大会・総会  
記事

◆日本佐渡学 日本佐渡学会

〒189-0001東京都東村山市秋津町1-12-43  
TEL042-394-5078

◇11 2009.12 B5 57p

学術講演  
道徳における二層のメッセージ  
村島 義彦  
こころを探る—唯識ということ  
後藤 康夫  
研究発表  
佐渡の芸能 山本 修巳  
佐渡の庚申信仰—相川町を事例  
として 新保 哲  
北陸の風の祭礼 田上 善夫  
感想と返礼  
賞状授与式 学術研究賞 村島義  
彦・田上善夫／感謝状 山本修  
巳  
平成21年度大会の概要

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文  
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262

◇127 2010.1 B5 28p

良寛遺墨解説(85) 加藤 偉一  
良寛尊像つれづれ(89) 出雲崎大  
黒屋さんの良寛さま 旭達文氏  
作 涌井 茂  
折々の良寛(16) 中国峨眉山良寛  
詩碑亭および良寛小学校を訪ね  
て 長谷川義明  
秋の役員会開催される／良寛180  
年忌記念 全国良寛会比叡山大  
会(予告)  
良寛さん いま比叡山へ 吉井 和子  
良寛180年忌に想う—伝教大師「忘  
己利他」と良寛の利行 今出川行雲  
新渡戸稲造と私(2) 佐藤 全弘  
「焚くほどは風が持て来る落葉哉」  
は良寛の辞世の句である 富澤 信明  
「生涯懶立身 騰々任天真」につ

いて再考する 長谷川洋三  
「平安京」散策(1) 藤田 邦子  
良寛が憧れた聖地・峨眉山を訪ねて 加藤 僖一  
茨木のり子と良寛 大矢 良廣  
幼稚園児から大学教授まで920人の心に届いた絵と写真でみる良寛展 岩城 葉子  
松本市壽さんを偲ぶ会 山本 良一  
新潟県立図書館主催「ふるさとの本を楽しむ講座・第一回」加藤 僖一「ほっとする良寛さん」 加藤 僖一  
トピックス／新刊紹介／会報・会誌紹介  
良寛没後180年祭記念 新しき「良寛像」建立 制作案 募集 柳本 雄司

◆とやま民俗 富山民俗の会

〒930-0881富山市安養坊56甲-1  
富山市民俗資料館内 年3000円  
◇73 2010.1 A5 24p  
氷見市十二町湯の木造船、タズル 廣瀬 直樹  
コレラ流行の歴史 前田 英雄  
利賀村奥大勘場民俗点描(3) 一主として食生活を中心に 森 俊  
民俗の窓・会務報告・文献紹介

◆石川郷土史学会々誌

〒920-0964石川県金沢市本多町3-2-15  
石川県立図書館内 TEL076-223-9577  
1968年創刊  
◇42 2009.12 B5 131p  
はじめに 村井加代子  
子規庵を訪ねて 今井 喜江  
白山山内における一向一揆と吉野組衆 高井 勝己  
森田盛昌『宝の草子』について(1)

鈴木 雅子  
東都開学・若き加賀の教師たち 吉田 國夫  
梅鉢海軍の創設から消滅まで(1) 梅鉢海軍の創設に至るまで 金谷 利勝  
「巴御前」伝承をめぐる 高岡千栄子  
人相書による捜査 真山 武志  
羽咋は鶴咋および気多大社致 酢谷 琢磨  
凶案家 安達正太郎について 鶴野 俊哉  
平法中條流の歴史 山崎 正美  
加賀藩と花火 長山 直治  
本多政重と直江兼統 一慶長期に於ける政重の行動 加納嘉津政  
木舟城を陥落させ帰雲城を埋没させた天正大地震の真相—天正大地震は連続多発地震だった 安達 正雄  
大乘寺二十七世 円山道白の遍歴と外護者中田庄三郎 立花実山 野村 昭子

笠原一族、先祖のロマン 一鳳至郡誌の誤りを正す 笠原 慎治  
加賀藩における明治から大正にかけて活躍した傑僧(1) 虎井 吉雄  
御算用者・中村喜平『元治元年 嘉二七被召出候節 諸事覚帳』 中屋 隆秀  
楠木悠紀夫先生を偲ぶ 虎井 吉雄

◆日本学研究

金沢工業大学日本学研究所  
〒921-8501石川県石川郡野々市町扇が丘7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊  
◇12 2009.12 A5 241p  
五月五日節について 吉川 美春  
中世白山三馬場関係史の一考察 平泉 隆房  
『尋常小学読本』中の唱歌について 中山エイ子  
昭和初期の学制改革論と旧制高等学校—とくに第四高等学校を例として 夏目 賢一

増補本『配所残筆』の新出写本について 秋山 一実  
熱田神宮編年史料(稿本) 中世四 藤本 元啓

◆MARUBI

富士吉田市歴史民俗博物館だより  
〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1  
TEL0555-24-2411 www.fy-museum.jp  
◇33 2009.11 A4 8p  
富士吉田あれこれ 富士登山ブーム 布施 光敏  
博物館Report レポート 富士山七合目如来寺 太子堂の由来—寛政5年の書付から 高橋晶子／篠原武  
上暮地新屋敷遺跡発掘調査概報(中)

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所  
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145 TEL0265-53-4670 www.city.iida.nagano.jp/iuhr/

◇43 2009.12 A4 4p  
アーカイブズ自治振興センター巡り  
2009飯田アカデミア／「飯田歴史賞2009」を受賞して(平田正宏)／第7回地域史研究集會に参加して(吉田律人)／地域史講座／歴史ゼミ  
市民の声 遅まきながら 橋部 進  
リレーエッセイ 建築史ゼミ—見えて分かる歴史史料 金澤 雄記

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048  
TEL0265-22-6017 年5500円  
◇979 (57-12) 2009.12 A5 50p 500円  
口絵 明治時代の梯子乗り 原田 望

ユタ日報を發刊した山吹出身の寺 沢畔夫・国子夫妻 林 登美人  
飯田線開通時の花電車見物 松村 義久  
消えていくことばの文化(17) 一食べ物三題 井上 伸児  
思い出の大久保界限 一鉛筆一本の旅 松尾ちゑ子  
野鳥雑記(2)—カラスのクロ 原田 望  
第445回郷土巡礼記 史蹟を尋ねて緑の旗は行く 飯田藩主堀氏宗家の終焉地と『天地人』の旅 今牧 久  
史蹟を尋ねて緑の旗は行く 春日山城跡と林泉寺 堀 親郎  
知将にして卓越した文化人 伊藤 昭雄  
『天地人』の旅を詠む—春日山城址から会津・米沢 吉川 進久  
米沢の法音寺と墓石 原田 望  
『伊那』第57巻 総目録(2009.1より2009.12まで)

◇980 (58-1) 2010.1 A5 50p 500円  
《民俗特集》  
口絵 40年前の下栗 橋部 正  
操座元市村伝七の伊豆木上演 久保田安正  
祭りの今昔—龍江瑞相山紅葉寺 大原千和喜  
梨野峠に水戸浪士の跡を追う 林 登美人  
江戸時代子ども病氣と願掛け 今村 善興  
下市田はホンヤリ、木曾宮越とサ イノカミ—正月の門松おさめ 神村 透  
飯田町のどんと焼き 清野大吉郎  
かんじよりと千枚通し 赤羽 篤  
飯田町、昭和初期のお正月 依田 時子  
区有林と戦時下の青少年時代 加藤真那生  
飛ばなかった木製飛行機 一松尾にあった「飯田航空」 谷川 政治

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2

TEL0265-78-6719 年5000円  
 ◇635 (53-12) 2009.12 A5 48p 500円  
 《広域特集》  
 沖縄県大東島へ歴史的な第一歩を  
 池上 眞澄  
 〈第34回上伊那歴史研究会県外実地踏査報告〉  
 中山道と上信国境の古道を巡り、  
 富岡製糸・秩父事件と信州の関  
 連を現地に探る  
 実智踏査の概要 北原 利雄  
 中山道の道筋を巡る旅—長窪(長  
 久保)宿～笠取峠の松並木 桐山 清一  
 中山道芦田宿から望月宿へ 内藤りつ子  
 今に生きる五郎兵衛用水を訪ねて  
 内城 正登  
 富岡製糸場 中村 敬  
 信州における秩父事件の足跡 矢澤 静二  
 県外実地踏査に参加して 伊藤 一夫  
 古文書の窓 養女に百姓名前を譲  
 るに付一札 下平すみ子  
 文化短信 「池泉堂文化サロン」に  
 参加して 矢島 信之  
 師匠の背中(2)より(15)  
 足・腰を踏め 若林 徹男  
 『伊那路』第53巻総目次 上伊那郷土研究会  
 ◇636 (54-1) 2010.1 A5 40p 500円  
 明けましておめでとうございます  
 地球を守るクリーンエネルギー  
 旧中沢村(駒ヶ根市中沢)村営発  
 電に学ぶもの 唐木 勉  
 勒銘石紀行 天山と俊篤と 山岸 貢  
 養蚕かるた 山本 勝  
 昭和20年代の上伊那考古学事情  
 —本田秀明の考古学原点 桐原 健  
 「手良村報」に見る昭和初期のく  
 らし 昭和初期の小学校教育 宮原 達明  
 ウェストンと『日本アルプス』の  
 献上本 田畑 真一

伊那谷のモズの仲間とヒバリ  
 —民俗の窓を通して(6) 吉田 保晴  
 文化短信 第10回上伊那郷土研究  
 交流の集い 山本 勝  
 考古あれこれ(4) 中道遺跡 赤松 茂  
 師匠の背中(2)より(16)年の瀬 若林 徹男  
 ◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所  
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655  
 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
 年3000円  
 ◇79 2009.12 B5 8p  
 遠山谷の交通と交易 その光と影  
 針間 道夫  
 柳田国男の『信州随筆』研究(18)  
 「御頭の木」から名称の歴史的  
 価値に触発されて 桜井 浩嗣  
 伊那近代思想史研究会(27)  
 州平日記と洲崎先生 森本 信正  
 フィールドワーク「遠山谷をめぐ  
 る」参加報告 遠山谷でかんが  
 えたこと 「集落への旅」と「野  
 の学び」の嚆矢の地へ 湯沢 孝一  
 ◆佐久 佐久史学会  
 〒385-0052長野県佐久市原83-4 白田辰雄  
 方 TEL0267-62-3168 年2500円  
 ◇56 2007.3 A5 82p  
 口絵写真 国重要文化財  
 紙本著色一遍上人絵詞伝 柳澤 全三  
 民話絵物語(48) 鎌倉石 大日方寛/原勝実  
 小林太郎会長のご逝去を悼んで 堤 隆  
 弔 辞 柳澤 全三  
 小林太郎掲載原稿目録  
 遺稿 近世村落に於ける祭り(3)  
 —佐久郡小井田村の場合 小林 太郎  
 一遍上人と踊り念仏 市川 武治  
 「伴野氏と時宗」史料集 木内 勝

時宗の開祖一遍上人と跡部の踊り  
 念仏 茂原 仙次  
 金石寺(紫雲山来迎院・佐久市野  
 沢)—一遍上人初開の道場 白田 都雄  
 小諸荒掘の夜明し念仏 上野茂/大杉律人  
 東山道浅麓南路考(3) 岡村 知彦  
 漢詩講座 第22回  
 —白楽天「長恨歌」(2) 木村 良一  
 地区便り/事務局便り  
 ◇57 2008.3 A5 84p  
 口絵写真 聖戒編『一遍聖絵』と  
 佐久 柳澤 全三  
 民話絵物語(49)  
 最明寺と謡曲「鉢木」 大日方寛/原勝実  
 河野水軍の末裔一遍と小田切の里 丸山 正俊  
 十念寺(小諸市平原)と一遍上人  
 —踊念仏と来迎会(1) 林 和好  
 無形文化財 十念寺二十五菩薩来  
 迎会—踊念仏と来迎会(2) 南澤 繁人  
 御代田町荒町の踊り念仏 桜井源太郎  
 春日岩下の踊念仏 小林 勇  
 布施大木の踊り念仏一回向柱を立  
 て 高柳一雄/春原進/鈴木美由貴  
 漢詩講座 第23回  
 —白楽天「長恨歌」(3) 木村 良一  
 地区便り/事務局便り  
 ◇58 2009.3 A5 80p  
 口絵写真 人面香炉形土器/人面  
 付土器/家型ハニワと人物ハニ  
 ワ/「石器使用人民棲息の趾」  
 の碑 柳澤 全三  
 民話絵物語(50)  
 頭が取れた姫の像 大日方寛/原勝実  
 考古学特集(1)  
 発掘された佐久の古代史  
 佐久の古代史 関連年表  
 佐久の旧石器時代 堤 隆

佐久の縄文時代 藤森 英二  
 佐久の弥生時代 小山 岳夫  
 佐久の古墳時代 富沢 一明  
 佐久の奈良・平安時代 桜井 秀雄  
 佐久の中世 森泉かよ子  
 神津猛の考古学と江上波夫 伴野 敬一  
 漢詩講座 第24回  
 —白楽天「長恨歌」(4) 木村 良一  
 地区便り/事務局便り  
 新刊紹介  
 考古学が語る佐久の古代史  
 ◆信濃 信濃史学会  
 〒390-0805長野県松本市清水1-9-607  
 TEL0263-36-1785 年8400円  
 www.shinano-shigakukai.com  
 ◇719 (61-12) 2009.12 A5 80p 900円  
 《中世特集号 中世文書と向き合う》  
 公家史料にみる外記の宣旨発給と  
 吉良満義の信州発向 井原今朝男  
 南北朝期信濃守護小笠原氏の権力  
 形成過程 花岡 康隆  
 「預け状」再考  
 —中世の契約と文書の作成 村石 正行  
 史料紹介 高野山成慶院『信濃国  
 供養帳』(1)—『信州日牌帳』  
 新刊紹介 上田小県近現代史研究  
 会ブックレットNo.16『義民・反  
 骨・自立の青木村を歩こう』 小野 和英  
 『信濃』第61巻総目次  
 ◇720 (62-1) 2010.1 A5 88p 900円  
 《民俗学特集号》  
 縁結びと縁切り—長野県内の「縁  
 切り信仰」の事例を中心に 夏目 琢史  
 越後の「灯籠押し」—下総地方に  
 おける灯籠風流の展開 三田村佳子  
 北関東におけるワラデッポウ—叩  
 き棒の名称の分布と素材・用途

の分布について 三輪 京子  
長野県中信地区の中世石造物—石  
塔から見えてくる信仰と文化 浜野 安則  
研究ノート あんどん皿 見波 瑞紀

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7  
TEL026-224-2673 年3000円  
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/  
◇268 2009.12 A5 60p 700円  
小林計一郎前会長永眠／熊野観心  
十界図(熊野観心十界曼荼羅)／  
善光寺の熊野社  
《特集 未来に繋がる絵解きの世界(4)》  
「語りの熊野詣口演サミット」で  
熊野観心十界図の絵解き 小林 玲子  
絵解き台本 熊野観心十界図  
小林一郎／小林玲子

熊野観心十界図の絵解き  
—善光寺と熊野を結ぶもの 小林 一郎  
福井県外の善光寺関係の報告  
—石川・富山・滋賀 北村 市朗  
岩井信能逸話あれこれ 志村 平治  
日露戦争の奉納額はどこへ 西沢 久徳  
講談「真田三代記」(23) 小林 一郎

◆長野県民俗の会会報

〒390-0222松本市入山辺1403 木下守方  
TEL0263-50-9911 年5000円  
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/  
◇31 2010.1 A5 96p  
画家須山計一が描いた疎開地「信  
濃の祭」 伊藤 友久  
諏訪形の疫神除け 三石 稔  
七夕人形の製造販売 木下守／中村慎吾  
屋代地域の神社信仰 中島 正利  
信州の秘境秋山郷の文献目録の作  
成 楯 英雄

◆長野県民俗の会通信

〒390-0222松本市入山辺1403 木下守方  
TEL0263-50-9911 年5000円  
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/  
◇214 2009.11 B5 8p  
大橋染色店の木曾での和服商い 中崎 隆生  
松本の巨人伝説の伝承地について  
(3) 小原 稔  
平成21年度総会のご案内 事務局  
◇215 2010.1 B5 8p  
あめ市再考—池田町の事例を手掛  
かりとして 木下 守  
第176回例会に参加して 百瀬 将明  
平成21年度総会の報告 事務局

◆ふきはら ふきはら文化の会

〒399-4603長野県上伊那郡箕輪町三日町  
2243 TEL0265-79-1601  
◇4 2010.1 A5 100p 500円(抄)  
良寛に学ぶ 小田切藤彦  
松山の子規・漱石・不折・山頭火  
春日愚良子  
万葉集の「東歌」と木曾の民謡 藤田 隆美  
ひとびとの聲音—ある読書遍歴(1)  
正岡子規 近藤 光也  
古寺探訪—飯田市龍江保寿寺 原 孝壽  
古田人形座「箕沢屋」公演 毛利のりお  
長野・松代探訪記 荻原 弥生  
江戸世相風俗漫画絵図切抜き帖 橋爪まんぶ  
ふれあいの和・輪 荻原かほり  
駒ヶ岳の神馬物語 小沢さとし  
日本の子育て(3) にらめっこ 大槻 武治  
郷土で活動が続けるサークル紹介  
(2) ふきはら文化の会 荻原 弥生

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所  
〒438-0086静岡県磐田市見付3532 TEL0538

-32-3546 www4.tokai.or.jp/child-cj/  
◇31 2009.12 A4 4p  
下賀茂の龍獅子と神楽  
人数不足と戦う消防団 吉川 祐子  
◇32 2010.1 A4 4p  
大井川筋のひよんどり(1)  
佐沢薬師のひよんどり 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学  
情報学部 荒川章二研究室内 年4000円  
◇375 2009.12 B5 4p 200円  
三井物産と沼津兵学校の人脈—木  
山実『近代日本と三井物産』に  
よせて 樋口 雄彦  
聴力障害をもった子どもたちの戦  
争 小池 善之  
論文紹介 高柳友彦「缶詰産業の  
企業化と生産地域の展開—静岡  
県を事例—」(東京大学社会科  
学研究所研究シリーズNo.32『戦  
前日本の食品産業—1920～30  
年代を中心に—』2009年2月)  
論文紹介・雑感 佐藤弘「職場  
の歴史」をめぐって—国民的歴  
史学運動から学ぶもの—(『山  
梨の歴史教育』第12号 2009年  
7月)

◇376 2010.1 B5 4p 200円  
共同研究「静岡県の戦後史」(仮)  
の出版に向け執筆者を募集しま  
す! 橋本 誠一  
新刊紹介  
稲田雅洋『自由民権運動の系譜  
近代日本の言論の力』 加藤 善夫  
安藤実編著『富裕者課税論』 清水 実  
書籍紹介  
『浜松の戦争遺跡を探る』(1) 川上 努

◆静岡県の歴史と文化

静岡県の歴史と文化研究会  
〒424-0873静岡市清水区有東坂1-224-264  
川崎文昭方 TEL054-345-4346  
◇13 2009.11 B5 38p 500円  
焼津湊の廻船業の研究—幕末、伊  
勢・美濃の御城米廻送を中心に  
川崎 文昭  
霊山寺梵鐘鑄造鑄物師の刻銘時期  
と14世紀後半遠江における鑄物  
師居住地について—霊山寺梵鐘  
に関する覚書(2) 厚地 淳司

◆静岡県民俗学会誌

〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302  
1977年創刊  
homepage3.nifty.com/s-folklore/  
◇134 2010.1 A4 8p  
平成22年 年頭のご挨拶 多々良典秀  
平成21年度例会 「夜っぴとい神  
楽」見学会記 松田香代子  
幕末のコレラ対策(1)  
—お犬さまの勧請 小杉 達  
幕末のコレラ対策(2)  
—吉田神社の勧請 外立ますみ  
シリーズ食(10) 冬のイルカ煮 外立ますみ  
静岡の民俗語彙・方言短信  
ソロバン／ヨジョコジョ 外立ますみ  
博物館情報

◆静岡平和資料センターだより

〒420-0858静岡市葵区伝馬町10-25  
中央ビル90 TEL054-271-9004  
homepage2.nifty.com/shizuoka-heiwa/  
◇38 2009.11 A4 2p  
常設展示 静岡・清水空襲 64年  
前、街が瓦礫の焼け野原に…  
利用してください!／参加してく

ださい！／アジア太平洋戦争  
「インパール戦 体験画」展

◆豆州歴史通信 豆州研究社歴史通信部  
〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10

◇450 2009.12 B5 4p

1874(明治7)年3月20日 フランス  
船ニール号沈没の悲劇 伊豆半  
島西海岸妻良沖で 文明開化も  
オランダ語だけでは困惑

文明開化と伊豆石材の需要増加  
445号「愛鷹丸遭難」について土  
肥の昔話「ようかんで命拾いし  
た話」 水口為和さん提供

1874(明治7)年、イギリス人 熱  
海温泉で無許可療養送検？騒動

◇451 2009.12 B5 4p

1904(明治37)年伊豆の電話交換業  
東京木挽町中央電話局と熱海海  
汽館 長距離公衆電話の初例  
東京・熱海間で始まる

◇452 2010.1 B5 4p

445号「愛鷹丸遭難」について土  
肥の昔話「ようかんで命拾いし  
た話」 水口 為和

図書紹介「東南海地震 八歳の記  
録」 昭和19年・静岡県袋井で  
の体験 市川和子／1923(大正  
12)年9月1日 熱海線で停車中  
の列車・海中に転落／関東大震  
災(1923・大正12年9月1日)発生  
伊豆の町や村の悲惨な被害状況

◇453 2010.1 B5 4p

1895(明治28)年9月 小田原に電  
気鉄道出現の兆しが噂になる？  
馬車鉄道は時代遅れというが、  
この年の七月には熱海に人車鉄  
道

伊豆の歴史とちは無関係だが愉快  
な話題 1885年人力車夫5厘欲  
しさに仲間と大喧嘩 明治18年  
6月30日 朝日新聞 明治ニュー  
ース事典／日本最初の汽車  
1865(慶応元年)年 イギリス発行  
の「鉄道タイムス」

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1  
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇225 2010.1 A5 37p (抄)

熱田社の和歌と文学(26)―冷泉為  
久と為理の場合 八木意知男  
特集 本殿遷座祭

◆安城民俗 安城民俗談話会

〒446-0026愛知県安城市安城町清水23-4  
川合正治方 TEL0566-76-6638

◇33 2009.12 B5 14p

安祥城と安城城について 川合 正治  
校名・あれこれ 阿部 健  
ホンコサン(報恩譚)の執行につ  
いて 加藤 研一  
この人達の死は戦死 榊原 信寛  
懐かしき情景の中で 松元美紀子

三河湾チャリティー 100km

歩け歩け大会に参加して 汐満 房江  
秋の研修旅行(西尾路) 鈴木 厚子  
書名を決める 斎藤 卓志  
談話会活動記録

◆まつり まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25  
TEL0567-37-0441 年5000円

◇71・72 2009.12 A5 204p 2500円

《特集 平成の御鞆祭》  
〈全体を見渡して〉

平成の御鞆祭り 大島 建彦  
「御鞆祭考」拾遺 木村 直樹  
尾張のお鞆祭りについて 武藤 真  
お鞆祭りの流れ

―神職から見たお鞆祭り 山田 壽二  
〈行われた記録―尾張西部の市町村別概要〉

甚目寺町の概要 内山 伸也  
七宝町の概要 内山 智美  
蟹江町の概要 大野 麻子  
名古屋市の概要 武藤 真

愛西市の概要 石田 泰弘  
津島市の概要 横井 さつき

弥富市・飛鳥村の概要 伊藤隆彦／服部一宏  
美和町の概要 鎌倉 崇志

稲沢市の概要 塚本ゆかり  
一宮市の概要 久保 禎子

清須市の概要 鎌倉 崇志  
〈行われた地区の実践記録例〉

二子町定納のお鞆祭りの記録 櫻井 茂磨  
高畑町御鞆祭り 中野良一郎／水谷武人

平成19年鵜多須町の御鞆祭 杉原 康弘  
西條町御鞆祭(平成19年丁亥) 後藤 甫

西福田の御鞆祭り 佐藤 信男  
博物館のお鞆祭り

―地域の核としての新機能 武藤 真  
〈愛知県以外の御鞆祭〉

お鞆祭りの外縁  
―富山市布尻・町長の場合 金田 久璋

写真・文 長野県下伊那郡阿南町  
日吉のお鞆祭り 山崎 一司

美濃地方郡上地区の御鞆祭り―順  
村の内容に芸能史を添えて 清水 昭男

資料 平成のお鞆祭り  
尾張西部市町村別地区一覧 事務局

◆もりやま 守山郷土史研究会

〒463-0075名古屋守山区市場15-12  
道木正信方 TEL052-791-2304 年3000円

1982年創刊

◇29 2010.1 B5 208p

大森村の古墳について  
―地籍図から探る 道木 正信  
救命投索砲について 安田 修  
瀬戸線あれこれ(2) 伊東 重光

明治二年広小路にさらしもの多く  
あり 中―さらしの刑瞥見 加藤 英俊  
こんにちは 庄屋さん 西尾 春子  
資料紹介

名古屋新田 寛文御用留(1) 青木 忠夫  
小幡村御觸留(21)―明治六年  
御用留 守山古文書の会

明治五年大森村願書書留覚帳 道木 正信  
守山郷土史研究会の歩み(29)

守山郷土史研究会

平成21年発掘調査現地説明会資料  
―志段味大塚古墳、尾張部神社

古墳・中社古墳 守山郷土史研究会  
変貌する瀬戸線(1) 荒川 康彦

◆史料 皇學館大学史料編纂所報

〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704  
TEL0596-22-6462

◇224 2009.12 B5 8p 200円

奈良・纏向遺跡の大型建物遺跡は  
崇神天皇の宮跡といふ論拠 田中 卓  
いにしへの伊勢(5)―絵葉書・古  
写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

## 近 畿

◆蒲生野 八日市郷土文化研究会

〒527-0034滋賀県東近江市沖野2-4-3  
TEL0748-24-0174

◇41 2009.12 A5 128p

巻頭論文 文学の誕生 額田王 高城 修三  
『源氏物語』と比叡山 渡邊 守順  
五番目の惟喬親王「御縁起」 中島 伸男

八日市の旅館にて詠まれた中島棕  
 隠の漢詩二第 和田 徳蔵  
 塩津港挽歌 鈴木 文七  
 平柳天神山鎮守の森と古墳群 廣瀬久兵衛  
 天保の改革と呼ばれた質素儉約令 山田富二男  
 湖底から蘇った零戦 小杉 弘一  
 五個荘便り 佐々木国広  
 進化学について(4)  
 生物の共通性 松岡 教理  
 「雪の山」から近江の古代を 外村 芳夫  
 八日市の井川 森野 吉雄  
 随 想  
 「歴史観」について思う 野村 宗一  
 歎異抄講義を終えて 実は法然  
 の言葉であった悪人正機 宮野 淳一  
 談話室  
 思い出の玉園中学校 喜多尾文代  
 武蔵川崎山王権現の宮座式(報  
 告) 高橋 一  
 蒲生野アーカイブス

◆湖国と文化 (助滋賀県文化振興事業団)

〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22  
 TEL077-522-8369 年3160円  
 www.shiga-bunshin.or.jp  
 ◇130 2010.1 B5 92p 630円  
 《特集 前垂れに見る近江商人魂》  
 びわこデザイン文化協会“前垂れ”  
 デザイン・コンテスト 総括 今北 紘一  
 びわこデザイン文化協会“前垂れ”  
 デザイン・コンテスト&前垂れ  
 コレクション 新旧の前垂れデ  
 ザインに思う 角谷 和好  
 “前垂れ”、暖簾(のれん)、そして  
 ブランドの関係。 藤澤 武夫  
 「前垂れ展」記念シンポジウム  
 前垂れに見る近江商人の勤勉さ

と誇り 岩根順子/塚本喜左衛門/  
 前川洋一郎/角谷和好/藤澤武夫  
 湖国レディス・アイ(21)  
 懐かしの湖国 行司 千絵  
 滋賀のかくれ里(14) 金勝山をめぐ  
 って(4) 粕坂磨崖仏 いかいゆり子  
 興味津津 私近江(6) 日本のヒ  
 ーローは滋賀の田園にあり MOTOKO  
 あの町この町(27) 木之本町 今関 信子  
 滋賀の伝説と民話「金勝山の竜王」  
 渡邊守順/斉藤裕子  
 湖国藝術紀行(3) 映画「キクと  
 イサム」から五十年(上) 梅澤 幸平  
 編集長対談 湖に生きる(35)  
 木村至宏さん 根津真澄/馬場和実  
 ふるさと四季の味(26) 畑の肉、  
 超能力の大豆で健康・長寿 小川 久子  
 続・ふるさと歴史散歩「観音寺城  
 跡」—安土町石寺 早藤 貞二  
 近江人物伝(4) 巖谷小波 木村 至宏  
 湖国 人・物・風景(19) 行く春  
 を近江の人と… 芭蕉はなぜ近  
 江が好きだったのか 苗村 和正  
 ごきげんさん(31) 奈良大学教授  
 シシ垣ネットワーク代表 高橋  
 春成さん 辻村 琴美  
 近江の海 おーい老いと呼んでみ  
 る(19) 琵琶湖のエスカレータ  
 — 熊谷栄三郎  
 北から南から  
 嵯峨徳子/袖森茂/今井信/奥  
 田安都佐/江竜喜信/西川清子  
 湖国サロン(読者の広場) 大谷さ  
 ん、いつまでもお元気で活躍  
 を 中井寅之助  
 再発見! 滋賀の文学(9)  
 近江の心(1) 「良知」の心 井上 次雄  
 やんちゃ坊主伝 戦中戦後編(9)

東レの被爆 高橋 勉  
 大谷昭宏のハートツーハート(24)  
 壮大だった抱きしめてBIWAKO  
 大谷 昭弘  
 水源の森を訪ねて(29)  
 日野川支流西明寺川 檀上 俊雄  
 伝承に見る淡海(27) 安曇川の筏  
 の神さま、シコブチ神 黄地百合子

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1  
 TEL0749-22-6100  
 www.city.hikone.shiga.jp/museum/  
 ◇87 2009.12 A4 4p  
 テーマ展 日本の楽器・琵琶—井  
 伊家伝来雅楽器から/テーマ展  
 竜虎—寅年にちなんで/直弼  
 発見! 巻の10 弥千代の雛と婚  
 礼調度/テーマ展 井伊家伝  
 来・能の小道具  
 金亀玉鶴  
 新野古拙—幕末彦根の文化人 高木 文恵  
 直弼のこころ—井伊直弼ゆかりの  
 作品(6) 彦根表下り御懸物留  
 下帳/刊行物のご紹介

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5  
 TEL0740-36-1414 年4800円  
 ◇555 2009.12 B5 14p 420円  
 「民俗文化」のさらなる充実をめ  
 ざして 菅沼晃次郎  
 家蔵の触書に見る江戸中期通貨の  
 変動(前) 中村 武三  
 奥琵琶湖周辺の伝承(6)—輻重兵  
 の善行とレイテの墓標 馬場杉右衛門  
 人の世の姿 田中 春二  
 北近江の地貌季語 馬場杉右衛門

尿管に関する覚書(9) 吉岡 郁夫  
 母からの頂き物—絵箱と袱紗 粕淵 宏昭  
 火熨斗(ひのし)について 粕淵 宏昭  
 「高槻クラブスポーツ少年団」と  
 共に—回想記(10) 奥山 芳夫  
 城郭縄張図の無断転載について 高田 慶子  
 近江と柳田民俗学(2)  
 —近隣府県の白米城伝説 馬場杉右衛門  
 「民俗文化」総目次(45) 第544号  
 (2009年1月)~ 第555号(2009年  
 12月)  
 ◇556 2010.1 B5 12p 420円  
 主権在民から見た日本人の歴史を  
 知りたい 菅沼晃次郎  
 大陸の戦争と虎 馬場杉右衛門  
 家蔵の触書に見る江戸中期通貨の  
 変動(後) 中村 武三  
 奥琵琶湖周辺の伝承(7)  
 —流れ灌頂と愛発の関 馬場杉右衛門  
 小谷城伝出丸の馬蹄墨  
 —長浜市湖北町 長谷川博美  
 気温の表示について 粕淵 宏昭  
 肝油について 粕淵 宏昭  
 ガラスの醬油さしについて 粕淵 宏昭  
 近江と柳田民俗学(3)  
 —その他伝説と湖北 馬場杉右衛門  
 近江と柳田民俗学(4)  
 —門下と俊英、三田村耕治 馬場杉右衛門  
 数値の魔術師 田中 春二  
 「高槻クラブスポーツ少年団」と  
 共に—回想記(11) 奥山 芳夫

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島粟田町22  
 中村修方 FAX075-392-3743 年4000円  
 www.geocities.jp/kodaishinoumi2005/  
 ◇58 2009.12 A5 100p 1500円  
 巻頭言 世界化は避けられないか

両面宿儺と飛騨国造 白崎昭一郎  
巨大古墳時代の大阪 宝賀 寿男  
上代特殊仮名の根本的解明(13) 西川 寿勝  
会員ひろば 坂田 隆  
紀年法についての雑感 下司 和男  
アンデス通信(11) 市木 尚利  
近藤義郎先生の思い出 半沢 英一  
石棚を持つ齊頼塚古墳の被葬者伝 重村 英雄  
下司氏の「魏鏡説は危機か」に関 新井 宏  
連して 渡部 正路  
草香目子媛の「草香」

◆史迹と美術 史迹美術同致会  
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入  
西大路町146 中西ビル内  
FAX075-441-3159 年8000円  
◇800 (79-10) 2009.12 A5 32p 915円  
鰐口の銘文(10) 愛甲 昇寛  
鬼瓦百選(79) 小林 章男  
中国のダイダロス  
—魯般伝説の伝播 寺本 健三  
第939回例会  
湖東・湖南の神像を訪ねて 山下 立  
第940回例会 橿原市付近の普段  
見られない文化財を訪ねる 東 日章  
本誌800号刊行を迎えて 中西 亨  
白河院の建築と庭園 矢ヶ崎善太郎  
第79輯(791～800号)総合目録  
◇801 (80-1) 2010.1 A5 36p 915円  
「平等院鳳凰堂石燈籠」補遺 尼崎 博正  
鬼瓦百選(80) 小林 章男  
難波津小考(上) 田寺 英治  
第941回例会 日吉町の文化財 矢ヶ崎善太郎

◆史談福智山 福知山史談会  
〒620-0884京都府福知山市堀495-3

塩見昭吾方 TEL0773-22-7546  
◇688 2009.7 B5 8p  
北近畿を訪れた幕末の志士  
清河八郎の旅 嵐 光激  
◇689 2009.8 B5 4p  
福知山史談会夏の例会報告 緑陰  
講座(概要) 東源寺(夜久野町)  
—編集者より  
◇690 2009.9 B5 4p  
阪鶴鉄道に関する史料(1) 嵐 光激  
コラム 卑弥呼は箸墓古墳に眠っ  
ているのか/「多廻馳命」と  
「久々廻馳命」について 塩見 昭吾  
◇691 2009.10 B5 4p  
阪鶴鉄道に関する史料(2) 嵐 光激  
コラム 終戦前後の代用食・闇米  
の一端について 塩見 昭吾  
◇692 2009.11 B5 4p  
平成21年度 秋の研究発表(報告)  
コラム 修羅が福知山でも発見さ  
れていた 塩見 昭吾  
◇693 2009.12 B5 6p  
福寿院は河守であった 大槻 伸

◆都藝泥布 京都地名研究会通信  
〒617-0002京都府向日市寺戸町二枚田12-  
46 網本逸雄方 TEL075-933-5667 年3000  
円 www.geocities.jp/Kyotochimei/  
◇31 2010.1 A4 8p  
第26回京都地名フォーラム報告  
源頼政の逃げ道—頼政道(齊藤  
幸雄)/城陽の地名を考える(福  
富城介)/ヤマシロのコマのわ  
たりの瓜つくり—京野菜のふる  
里(木村紀子)  
第27回京都地名フォーラム  
テーマ「丹後の歴史と地名」  
書評 谷川彰英著『京都奈良「駅

名」の謎 網本 逸雄  
吉田金彦会長の一筆あれこれ

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより  
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1  
TEL075-465-8151  
www.ritsumei.ac.jp/kic/a06/  
◇48 (17-2) 2009.12 A4 20p  
スポット ミュージアムの所蔵品  
「陸奥新聞」  
巻頭つれづれ 初代館長・加藤周  
—さんのこと 安斎 育郎  
「私たちにとっての加藤周一」フ  
ォーラム in 京都の開催報告  
館長だより 情報の質と深さ  
—「世界報道写真展」から 高杉 巴彦  
時評 2009年のノーベル平和賞 安斎 育郎  
ミニ企画展開催報告(2009年8月～  
2009年10月)  
ここが見どころ  
建物疎開—銃後の「暴力」 小関 素明  
事業報告 夏休み親子企画「へい  
わ」ってなに? 2009 / 小中学  
校教員対象下見見学会2009 /  
2009年度博物館実習報告 / 世界  
報道写真展2009—北海道会場  
ボランティアガイド活動日誌 木崎 利夫  
BOOK 新着図書のご案内

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報  
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425  
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円  
◇264 2009.12 B5 12p  
大阪府南部の温泉(源泉)開発(2) 岸田 修一  
開書・日根野 小富士山山林火災  
について 賀本俊勝/北山理  
合祀神社(6) 上田 繁之  
◇265 2010.1 B5 12p

「根来政権」と民衆(9) 井田 寿邦  
合祀神社(7) 上田 繁之  
大宮神社祀りの背景(1) 上田 繁之

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所  
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2  
大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333  
1980年創刊  
◇74 2010.1 A5 132p 700円  
大阪市史編纂所・大阪市史料調査  
会創設三十年にあたって  
絵葉書でみる明治末～大正初年の  
千日前—「映画の街」の黎明期 藤田 実  
大阪歌謡史—流行歌でたどる大阪  
の大衆文化(2) 古川 武志  
真田山陸軍墓地墓碑改葬関係書類  
について 堀田 暁生  
南木芳太郎日記鶏肋(大正三年、  
大正七年、大正十年) 古川 武志  
安永四年、七瀬新地明細帳の紹介  
野高 宏之  
編纂所三十年に寄せて 金田 稔  
大坂三郷人口推移表の誤り 野高 宏之  
みおつくし 三度飛脚 野高 宏之  
新刊図書紹介 『8・15傘寿の追憶  
—戦時下の中学生』、『北野定時  
制72年史』、『映画「大大阪観光」  
の世界—昭和12年のモダン都  
市』、『皮革の歴史と民俗』

◆大阪歴史懇談会会報  
〒596-8691大阪府岸和田郵便局私書箱18号  
FAX0724-38-4487 年5000円  
www.homepage2.nifty.com/rekikon/  
◇304 (26-12) 2009.12 B5 12p  
巻頭言 「民の安らぎ」は何時み  
のる わが国の二〇〇年史(下)

権野 敏男  
11月例会報告(第279回)「戦国時代の岸和田城」山中吾朗氏／「あまり知られていない家紋五つ—バラ、オオバコ、ウサギ、コムリ、千木」吉川三郎氏 稲垣 隆造  
歴史研究会第25回全国大会首都圏大会に参加して 田村 紘一  
予科練「海軍甲種飛行予科練生」の体験者に聴く 松坂 定徳  
満蒙開拓青少年義勇軍 池田市から送出された少年(続)(下) 室田 卓雄  
見学会こぼれ話(12) 源氏物語千年紀よせて「平安遷都 当時の漢字の読みかた」 稲垣 隆造  
◇305 (27-1) 2010.1 B5 12p  
年頭所感 明けましておめでとうございます 松坂 定徳  
12月例会報告(第280回)「日本の金山について—玉金山を中心に」松坂定徳氏／ビデオ鑑賞会「謎の古代都市は邪馬台国か？」稲垣隆造氏  
予科練「海軍甲種飛行予科練生」の体験者に聴く 松坂 定徳  
虎に関する小話 吉川 三郎  
見学会こぼれ話(13) 源氏物語千年紀よせて「父・為時も務めていた蔵人 突然の出現」 稲垣 隆造

◆かいつか文化財だより テンプス  
貝塚市教育委員会  
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1  
TEL072-433-7126  
◇40 2010.1 A4 8p  
江戸時代の国絵図作成事業と要家文書に残る村池絵図  
岸和田藩の七人庄屋／古文書講座

戦国から近世へ  
願泉寺鐘樓の発掘調査／平成21年度の埋蔵文化財調査  
ト伴椿(ぼくはんつばき)

◆家系研究協議会会報  
〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26  
島野穰方 TEL072-634-5909 年5000円  
www.geocities.jp/kakenkyou/  
◇31 2010.1 B5 8p  
系図(ケイズ)ブーム 飛田 政一  
家系研究協議会 平成21年度秋の例会報告  
珍名さんいらっしゃい(28) 眞野 幹也  
多田憲美さんを偲んで 島野 穰  
真田幸村公銅像建立 除幕式 島野 穰  
家研協たより／図書出版案内

◆河童通心 和田寛  
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327  
TEL072-251-2586 年2400円  
◇314 2009.12 A5 12p  
座敷童子は淵から上がった河童か？ 和田 寛  
「河童文庫」増加図書目録(二冊目及び他の書群からの移籍を含む)  
◇315 2010.1 A5 14p  
河童に化した人間たち 和田 寛

◆近畿文化 近畿文化会  
〒543-0021大阪市天王寺区東高津町11-9  
日本生命上本町ビル5階  
TEL06-4304-7433 年2200円  
◇721 2009.12 A4 8p 300円  
檜原の仏像 赤川 一博  
中高野街道を歩く—平野から松原間の名所と旧跡 泉森 皎

◇722 2010.1 A4 8p 300円  
先史・古代の志摩と伊雑宮 岡田 登  
芦屋の歴史と文化財 藤井 直正  
芦屋市内見学遺跡の概要 森岡 秀人

◆近畿民俗通信 近畿民俗学会  
〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5  
原泰根方 TEL06-6709-8533  
◇2 2009.12 A4 4p  
例会発表要旨 三村幸一撮影の民俗写真について 澤井 浩一  
年次研究大会のお知らせと日程／例会報告／祭り・行事・展覧会

◆混沌 混沌会  
〒541-0047大阪市中央区淡路町3-4-4  
中尾松泉堂書店 TEL06-6231-8797  
◇33 2009.11 B6 103p  
松泉堂主中尾堅一郎君を悼む 離郁斎主人  
中尾堅一郎さん 大内由紀夫  
中尾堅一郎さんを偲んで 國井 邦子  
中尾堅一郎氏のご逝去を悼む 古西 義麿  
中尾堅一郎さん追悼 管 宗次  
中尾さんのこと 田熊潤津子  
中尾堅一郎さん 肥田 皓三  
中尾さんの思い出 平野 翠  
嵯峨本『百人一首』と中尾さんのこと 森上 修  
中尾堅一郎氏を偲ぶ 森川 彰  
花月菴鶴翁墓碑 水田 紀久  
若干の混沌社資料(1) 多治比郁夫  
富岡鉄斎稿《高芙蓉逸巻》 奥田 素子  
木食応其上人と橋本 古西 義麿  
—連歌と町づくり・池づくり 管 宗次  
高山慶孝「志能婦草」  
もうひとつの『一刀万(萬)象』—平安寶巖石齋(燕安小笹喜三氏)『印人拾屑』紹介 竹内 淳

大岡春トと吉村周山関連資料について(上)—光明寺資料と「春ト位記」(大阪歴史博物館蔵)調査報告 高杉 志緒  
小山伯鳳の新碑 水田 紀久  
混沌会例会記事(平成20年) 鷺原 知良

◆左海民俗 堺民俗会  
〒593-8302堺市西区北条町2-10-18  
生駒道弘方 TEL072-277-6331 年3000円  
◇132 2010.1 B5 10p  
堺しぐさと江戸しぐさ 川村 淳二  
《特集 料理と酒》  
料理と酒 佐原 浩二  
書棚の上のビン 岸 繁司  
落鮎とカッポ酒 堀田 倭子  
鴨の赤ワイン煮 濱田美代子  
料理とお酒 川村 淳二  
堺奉行長谷川藤広の墓 岸 繁司  
例会報告と一口メモ  
7月例会報告  
比叡山・横川を歩く 植田 敏義  
9月例会報告 天野街道を歩く 山崎 琢磨  
10月例会報告  
篠山市・城と城下町 熊ノ郷安生  
11月例会報告  
奈良市菩提仙川と正暦寺 生駒 道弘  
追悼 和田昇三さんを悼む 生駒 道弘  
会報に関するアンケート 編集部

◆つどい 豊中歴史同好会  
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11  
山口久幸方 TEL06-6857-4959  
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/  
◇263 2009.12 B5 20p  
四世紀末・五世紀初の大和と河内 石野 博信

桜井茶臼山古墳の現地説明会と赤坂天王山古墳 山口 久幸  
 豊中歴史同好会 博物館に登場 編集部  
 ◇264 2010.1 B5 20p  
 20周年を祝い、新たな出発を 水谷 千秋  
 四、五世紀の丹波とヤマト政権 塚口 義信  
 古代吉備の史跡訪問記 宮田佐智子

◆ヒストリア 大阪歴史学会  
 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1  
 神戸大学人文学研究科 市沢哲研究室  
 www.soc.nii.ac.jp/history/  
 ◇218 2009.12 A5 251p 1500円  
 《2009年度大会特集号》  
 〈部会報告〉  
 特殊器台・特殊壺の型式学的研究 北井 利幸  
 関連報告 埴輪の成立過程をめぐる諸問題—特殊器台・特殊壺・加飾壺 廣瀬 寛  
 古代における将軍の展開と変質—天慶の征東大将軍藤原忠文をめぐる 鈴木 拓也  
 鎌倉期出雲国一宮の造営・祭祀からみた地域支配と国家 佐伯 徳哉  
 大坂退去から見た織豊期本願寺教団の構造 太田 光俊  
 近世畿内近国における領主支配と地域結合—安永期播磨国加東郡垂井住吉明神をめぐる争論を事例に 松本 和明  
 〈開港場行政〉の形成と長崎 添田 仁  
 明治中期における地方名望家の存在形態—阪鶴鉄道と大西善太郎 三村 昌司  
 1930年代における佐々木惣一の政治思想と時局認識に関する一考察 伊崎 文彦

◆あわじ 淡路地方史研究会  
 〒656-0053兵庫県洲本市上物部161-8  
 Tel.0799-24-1512 年6000円 1984年創刊  
 ◇27 2010.1 B5 115p  
 はじめに 武田 信一  
 淡路島の「大人」の由来と巨人伝 承の系譜 永田 誠吾  
 淡路霊場記(1) 武田 信一  
 言葉の幸はふ国、淡路島のことば(3) 伊郷 好文  
 弘法大師灘二十一カ所霊場巡り 堀部るみ子  
 阿波藩に報告の高田屋嘉兵衛文書について 北山 學  
 「大塩平八郎の乱」再考と淡路そして渡邊月石 大江 恒雄  
 淡路島内の旧海軍海面砲台と予科練 定本 義広  
 「熊神籬」について(2)—鈴木重胤は「常磐草」「淡路草」をどう詠んだか 高田 成樹  
 淡路の梵鐘ものがたり 濱岡きみ子  
 古い手紙(1) 五島 清弘  
 鍼灸随想 羽田 功一  
 一通の手紙—岡嶺雲のこと 北原 文雄  
 初めてのエッセー—「洲本城の朝」 松本 義為  
 「考古博物館」見学と、「赤穂大石神社」を訪れる—洲本市文化協会洲本支部「秋の文化研修旅行」 上崎 雅子  
 研究会バス旅行を謳う(16)「兵庫県立博物館」と「赤穂城址・大石神社」 生田 静子  
 報告／淡路地方史研究会例会記録

◆神戸史談 神戸史談会  
 〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6  
 佐藤憲太郎方 Tel.078-793-5348 年3000円

1926年創刊  
 ◇305 2010.1 A5 84p  
 年頭所感 神戸と生田神社と酒造について 加藤 隆久  
 方丈記「方丈庵」の模型 賀茂御祖神社(下鴨神社)河合神社奉納記 井上 勇  
 「みなとの祭り」雑駁 杉島威一郎  
 海人・ヒミコホホデミについての考察—生田・長田・廣田・片岡社の稲東 どいかずこ  
 日本歴史の淵源 九州「太宰府」について 服部 晃  
 御輿(みこし)のはなし 山田 皓一  
 祇園神社主催第21回平野歴史講演会より 義経の逆落しは一の谷か鴨越か 前田 章賀  
 風土記の歳時記—古代播磨の農事暦 8月例会講演資料 松下 正和  
 描かれた神戸の物語—清盛の築島と絵画資料 9月例会講演から(大意) 問屋 真一

◆神戸大学史学年報 神戸大学史学研究会  
 〒657-0013神戸市灘区六甲台町1-1  
 1986年創刊 www.kobe-u.ac.jp/~shigaku/  
 ◇24 2009.6 A5 59+77p(抄)  
 荘園勝示小考—伊賀国黒田荘における天喜四年官宣旨受容を事例に 正木 有美  
 退職記念 回想 私の研究生活 森 紀子  
 森紀子教授著作目録・経歴

◆史料ネット NEWS LETTER  
 歴史資料ネットワーク  
 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1  
 神戸大学文学部地域連携センター気付  
 Tel.078-803-5565 年1000円

www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/  
 ◇59 2009.9 A4 4p  
 2009年8月発生台風第9号 兵庫県佐用町・宍粟市 被災史料救出緊急特集号! 活動記録/台風9号による被災歴史資料保全活動への支援募金のお願い  
 ◇60 2009.11 A4 12p  
 2009年台風9号水害による兵庫県佐用町・宍粟市での歴史遺産保全活動について 奥村 弘  
 《特集 2009年8月発生台風9号水害による被災歴史資料の保全活動》  
 速報 松下 正和  
 台風9号水害と資料救済 藤木 透  
 史料レスキュー参加記 中岡 宏美  
 史料ネット水害対応記録  
 日高町・田尻早苗家文書の整理作業 中野 賢治  
 ◇61 2010.1 A4 12p  
 巻頭言 阪神・淡路大震災から15年—資料保全活動の発展的継承に向けて 吉川 圭太  
 〈特集「ケルン市歴史文書館」の倒壊と救済活動〉  
 「ケルン市歴史文書館研究会」の倒壊と救済活動 松下 正和  
 「ケルン市歴史文書館研究会」参加記 石井 大輔  
 緊急 大阪府公文書館の移転問題について 松岡 弘之  
 第11回「火垂るの墓を歩く会」に参加して 森脇 崇文  
 続報 台風9号被災歴史資料救出・保全活動 吉原 大志  
 書評 『水損史料を救う』 人見佐知子  
 「第5回地域史卒論報告会」のお知らせ/「兵庫津歴史研究会」の

お知らせ

◆**摂播歴史研究** 摂播歴史研究会

〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12  
TEL079-442-0658

◇49・50 2009.11 B5 8p

『土佐日記』に見える「河尻」に  
ついて 谷山 由夫  
「ぬけまいり」の一史料報告 青野 克彦  
生田神社学術フォーラムに参加し  
て 廣瀬 明正

◇51 2010.3 B5 8p

多田院から多田神社へ 熊谷 保孝  
研究ノート  
大阪の伝統野菜について 長谷川靖高

◆**西宮文化協会会報**

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17  
西宮神社内 TEL0798-33-0321

◇501 2009.12 B5 8p

忘年懇親会  
海上渡御沿岸図巻 吉井 貞俊  
四百年振りの海上渡御祭といふこ  
と 西宮まつり・海上渡御祭再  
興十周年に廻り会ひて 田邊 竹雄  
古式再興渡御祭(俳句) 荒木 博子  
伊勢参宮本街道を歩く(38)／平成  
版東海道五拾三次 吉井 貞俊

◇502 2010.1 B5 8p

1月行事案内 堀内ゑびすコレク  
ション 堀内冷追悼見学会「先  
生のお気に入り」白鹿記念酒造  
博物館  
西宮文化協会 堀内冷理事を偲ん  
で 西宮懐古写真集刊行に際し  
て 堀内 冷  
伊勢参宮本街道を歩く(39)／平成  
版東海道五拾三次 吉井 貞俊

◆**歴史と神戸** 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中  
印刷出版内 TEL078-871-0555 年3000円

◇277 (48-6) 2009.12 A5 49p 600円  
《特集 東六甲山採石場と大坂城石垣の研究》  
城郭の採石場研究のあゆみと課題

—東六甲採石場を中心に 藤川 祐作  
書評 築城史研究会編『大坂城石  
垣調査報告書(二)』—地道な刻  
印調査の成果に接して 森岡 秀人  
東六甲採石場城山刻印群と「十曜  
紋と一」の刻印 多賀 左門  
徳川大坂城石垣シンポジウム「大  
坂城の謎」を解く 参加記 高田 祐一  
地名研究(97) 西宮の地名探索  
石在 境界と地名(1) 渋谷 武弘  
聞き書き ありし日のまちと暮ら  
し(32) 花柄のワンピース—田  
辺聖子が暮らした尼崎 井上真理子

◆**あかい奈良** グループ丹

〒630-8144奈良市東九条町6-4 TEL0742-62-  
3408 年2500円 www.akai-nara.net

◇46 2009.12 A4 46p 500円

特集 三輪山物語  
特集 奈良の醤油を訪ねて  
あかい奈良が行く古社寺巡礼  
京都府相楽郡 笠置寺  
大和ものまんだら  
狛犬—足止めの願掛け 鹿谷 勲  
心の風景 はつゆき—平城宮東院  
の 井上博道／西村博美  
あかい奈良インタビュー  
デジタル復元師 小林泰三氏  
大和彩食館  
菊水楼が創る 冬至の縁起御膳  
奈良の伝統行事 レンズがとらえ  
てた大和の祭り 長谷寺 だだ

おしの鬼たち  
あをによし奈良の建造物 美の理  
由(2) 春日造りは、奈良時代  
の美意識から生まれた 春日大  
社本殿(国宝) 鈴木 嘉吉  
季の瞬 冬構 矢野建彦／矢野桃苑

◆**大美和** 大神神社

〒633-8538奈良県桜井市三輪  
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp

◇118 2010.1 B5 76p

頌 春 鈴木 寛治  
うま酒三輪—初期万葉の表現 梶川 信行  
三輪山の雲にみる和魂 関 和彦  
三輪山セミナー—イン東京講演録  
三輪山の信仰—カミと神 山折 哲雄  
三輪山セミナー講演録 国作りと  
大物主神—『古事記』における  
大物主神 神野志隆光  
纏向遺跡における居館域の調査 橋本 輝彦

◆**Regional**

奈良県立同和問題関係史料センター  
〒630-8133奈良市大安寺1-23-1  
TEL0742-64-1488

◇13 2010.1 A5 42p

般若寺層塔について 山川 均  
明治前期奈良県の遊郭・貸座敷に  
関する史料をめぐって 井岡 康時  
三業惑乱における大和国穢多村の  
動向(1)—洞村教宗寺の去就 奥本 武裕  
西里の回り地蔵習俗について 津浦 和久

◆**紀南・地名と風土研究会会報**

〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207  
桑原康宏方 TEL0739-22-0483 年2000円

◇46 2010.1 B5 16p

口熊野・奥熊野の地名

—那智勝浦町を中心に 田中 弘倫  
「どめき」という地名 吉川 壽洋  
田辺市那中辺路町、三番組伝馬庄  
屋の不始末—御用状損傷事件と、  
その結末 吹揚 克之  
ノート  
四国にあった大辺路・中辺路 桑原 康宏  
城下町形成以前の尼崎 田中 伸幸

◆**熊野** 紀南文化財研究会

〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3  
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657 年3000円

◇137 2009.11 A5 50p

日置川の筏と筏師の道 小板橋 淳  
近世田辺領における追放刑(流罪)  
について—居町追放 芝 英一  
大辺路調査報告書を読んで 山内 恒男  
部落史素描 平間日新社の設立時  
期についての基礎的考察 藤井 寿一  
畔田翠山の百五十回忌 橋本 観吉  
熊野地域文化検定テキストブック  
「地質遺産と自然景観」書評 渡瀬 敏文  
郷土関係新刊紹介・文化財ニュー  
ス・会合メモ

◆**国際熊野学会会報**

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1  
新宮市役所商工観光課 山本殖生  
TEL0735-23-3333

◇12 2009.11 B5 4p

時宗美術の中にある熊野  
伝えられた熊野権現への信仰 遠山 元浩

◆**霊宝館** だより 高野山霊宝山

〒648-0211和歌山県伊都郡高野町高野山  
306 TEL0736-56-2029 www.reihokan.or.jp

◇93 2009.11 A4 12p

秋期企画展「山岳信仰と高野山」

12月13日(日)まで  
収蔵品の紹介(67) 一心十界図  
ワークショップ 山岳修行の装束  
(山伏装束)を知ろう!  
高野山の文化 高野山の明神信仰  
(1) 高野山の丹生・高野両明  
神の発生 日野西真定  
高野山の名鐘(15) 清浄心院の鐘  
よもやま話(21)

高野山の天狗伝説  
企画展「山岳信仰と高野山」出  
品中の鉄矢(弓箭)  
コラム「神は細部に宿る」(God  
is in details) 第一章  
例宝館の庭園 ウバメガシ・姥芽  
檜・馬目檜・ばべ 亀岡 弘昭

中国・四国

◆郷土石見 石見郷土研究懇話会  
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15  
児島俊平方 TEL0855-22-2567  
◇82 2009.12 A5 163p 1200円  
古代石見国那賀郡の駅家と道  
一人麻呂も歩いた道 関 和彦  
明治期石見地方への朝鮮人漂着に  
ついて 杉原 隆  
邑智郡桜井庄日和村妙見社建替・  
元亀三年棟札の解説 久守 藤男  
他国へ移住した石見漁民の伝承  
—因幡国と佐渡国のこと 児島 俊平  
青春残照  
—生きている大和 vs 出雲 下垣 秀典  
石見の民話(7)  
—フィールド・ノートから 田中 瑩一  
私見、稲積が原・鼠原村・坂本 池田 一憲  
羽須美の神社棟札 日高 伊三  
自治功労者寺井愛吉翁胸像碑  
—わが町の碑 寺井 昭介

深夜の珍客来訪 今浦 敏江  
手拭・禪談義 川本 晃  
千葉からの「交遊録」 吉田 豊明  
江津の歴史を学ぶ会 斎藤 彰子  
百姓ばあさんの独りごと(4) 大矢 幸子  
第21年度石見郷土研究懇話会旭大  
会／受賞記念講演・地元研究発  
表要旨

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会  
〒704-8113岡山市西大寺2-6-36 村上岳方  
TEL086-942-6156 年1500円  
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm  
◇119 2009.12 B5 40p  
井久保伊登子著『女性史の中の永  
瀬清子』を読みながら 西川 祐子  
美作地域における奉公衆の研究 渡邊 大門  
女性宛書状に見る池田利隆と大坂  
の陣 内池 英樹  
参加記 地方史研究協議会研究例  
会「美作学と吉備学—地域学の  
成果と課題—」 加栗 貴夫

◆岡山人文学会会報  
〒700-0062岡山市大安寺中町11-17  
次田圭介方 年4000円  
◇203 2009.12 B5 12p  
追悼 鶴藤鹿忠氏  
鶴藤鹿忠氏のこと 次田 圭介  
鶴藤先生の思い出 尾崎 聡  
短 信 吉原 睦  
博物館・資料館展示 政田民俗資  
料館開設四十周年記念ミニ企画  
展「民俗資料館の四十年—奥江  
武氏の夢と想い—」開催報告 安倉 清博  
学会記事 臨時役員会  
9月例会発表要旨  
沖新田政田地区民俗調査中間報

告(5)—アンケート調査とそ  
の成果の概要 吉原 睦  
金光大神言行資料に窺う金神信  
仰諸相 加藤 実  
11月例会発表要旨  
沖新田の風土病「肝臓ジストマ」  
について 木下 浩  
金光大神言行資料に窺う金神信  
仰諸相(2) 加藤 実  
みんぞく読書会／みんぞく読書会  
・近況 次田 圭介  
沖新田政田地区民俗調査・打ち合  
わせ会 安倉 清博  
故・鶴藤鹿忠氏蔵書の受贈につい  
て

◆きび野 岡山県郷土文化財団  
〒700-0813岡山市石関町2-1  
TEL086-233-2505  
◇116 2010.1 A5 18p  
年頭にあって 石井 正弘  
随 想  
続「吉備路緑映」 永島 旭  
私的「篤姫」が誕生するまで 寺尾 美保  
岡山の自然 横川のムクノキ 粟井 成行  
岡山の文化財 沖田神社  
岡山の人物 福西志計子 倉田和四生  
岡山の文学碑 木畑貞清歌碑 森 俊弘  
わが町・わが村の自慢「日本で  
最も美しい村」連合(真庭郡新  
庄村)  
岡山の匠 小野三次(玉島だるま)  
地域文化創造に向けて  
哲西牧水顕彰会(新見市)  
美術館・博物館めぐり 赤磐市山  
陽郷土資料館(赤磐市)  
文化財団ニュース／会員だより／  
催しのご案内

◆芸 備 芸備友の会  
〒731-0135広島市安佐南区長東1-4-12-10  
小都隆方 1973年創刊  
◇37 2009.12 B5 88p 1000円  
《特集 遺構から見た芸備の城館跡》  
〈芸備友の会第16回例会報告〉  
芸備友の会第16回例会報告  
堀と土塁 尾崎 光伸  
城館跡の建物—吉川元春館跡の構  
造に関する考察 佐藤 大規  
城館跡の石垣—小早川氏城跡の石  
垣について 時元 省二  
小倉山城跡の登城路 平川 孝志  
郡山城下町の調査 川尻 真  
史料から見た城郭遺構 木村 信幸  
研究ノート 野光谷古墳出土滑石  
製鋸歯文紡錘車について—A類  
鋸歯文紡錘車の配布・受容意義  
を中心に 中山 学  
〈「考古学から見た郷土の歴史」講座の報告〉  
三ツ城古墳と安芸国の出現 古瀬 清秀  
吉備品治国の王墓・二子塚古墳の  
話 脇坂 光彦  
遺跡・文化財の動向 芸備友の会

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会  
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8  
TEL084-953-6215  
◇151 2009.12 A4 16p  
研究ノート 利鎌山城と福田氏 田口 義之  
続 絵馬あれこれ 熊谷 操子  
歴史トリビア(1) 野母 寿子  
東海道五十三次ゆったり歩き紀行  
(4) 大磯宿から小田原宿へ 岡田宏一郎  
火天の城 高橋 光  
銅の時代 根岸 尚克  
晩秋の彩り 藤井 保夫  
縄文史跡探記(3) 怨霊の古城跡 末森 清司

遍照寺山城便り(5) 藤波平次郎

◆**広郷土史研究会会報**

〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4  
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706

◇94 2009.11 A4 20p

広村400町余歩の新開遠景 上河内良平  
広「甘藍(カンラン)」事始考 上河内良平  
ひろ地名の由来と広大新開築調経

過研究 小栗 康治  
古文書部会・例会報告 吉田 顕治

◇95 2010.1 A4 20p

小坪神楽のルーツを訪ねて 賀谷 剛三  
郷土・広の将来を語る 杉岡 護

藤田家文書 第Q章 藤田家財産  
目録・起業資料集と関連文書

Q-1広島水力発電所基本資料(2)  
小栗 康治

古文書部会・例会報告 吉田 顕治

◆**みよし地方史 三次地方史研究会**

〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂  
新祖隆太郎方 TEL0824-44-2694

◇80 2009.12 B5 14p

藤村耕市先生(前会長)が文部科学  
大臣賞一本会も広島県文化功労  
賞を受賞

江田氏系譜考(2) 新祖隆太郎

世羅郡宇賀村の貢租関係文書につ  
いて(4) 藤原 一三

青河八幡神社の湯立て神事と県下  
の状況 米丸 嘉一

三次地方の珍しい地名(14) 来源  
(らいげん)/品(しな)

◆**わが町三原 みはら歴史と観光の会**

〒723-0062広島県三原市本町1-9-27  
TEL0848-62-2935

◇225 2009.12 B5 12p

今月の各地 先人たちが残した痕  
跡に思いをよせて 土肥 正徳

秋の研修旅行「伊予地方の史跡を  
訪ねて」を終えて 鈴木 健次

秋の研修旅行感想文

「再生の石」—伊予呂の思い出 大坪 和生  
レキカン秋の研修旅行に参加し

て 藤堂憲一郎  
秋の松山市を訪ねて 大本 静人

遺稿「小早川隆景公の遺徳を偲ん  
で」(2) 元三原市長 桑木健

一(1910~1970)

◇226 2010.1 B5 12p

今月の各地 新年のご挨拶 上田 嘉信  
「米寿」の挑戦 福岡 幸司

第10回三原(旧)一周膝栗毛の総括  
鈴木 健次

三原(旧)一周膝栗毛を終えて 山根 博光  
深の由来と伝説—深町に五藤市長

をご案内して 石井 静夫  
「頼三陽と三原」に関する情報

大募集!! 鈴木 健次

◆**徳島県立博物館ニュース**

〒770-8070徳島市八万町向寺山  
徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇77 2009.12 A4 8p

五護陀羅尼マンガラ(国立民族学  
博物館蔵)

Culture Club 探してみよう!! 藍  
商人活躍の足跡 庄武 憲子

特別陳列「マンガラ—チベット・  
ネパールの仏たち—」

Q & A 動物の化石のオス・メス  
を見分けることはできますか 中尾 賢一

情報 狸顔のケモノたち 佐藤 陽一

野外博物館  
冬越しする昆虫をさがそう! 山田 量崇

◆**新居浜史談 新居浜郷土史談会**

〒792-0023愛媛県新居浜市繁本町8-65  
新居浜市生涯学習センター内

TEL0897-33-2991

◇378 2010.1 A5 39p 500円

寅の年 加地 和夫  
近年における新居浜市の遺跡発掘

について 真木 孝  
上小深遺跡 市体育文化課

語り伝えて 運と才能 小野 清恒  
別子大水害から110年

—慰霊式と被害の概要 曾我 幸弘  
語り伝えて 二十一世紀の軌跡 小野 清恒

四国中に里丁石を遺した武田徳右  
衛門 喜代吉榮徳

◆**秦史談 秦史談会**

〒780-0023高知市東秦泉寺283  
松本紀郎方 TEL088-875-6671

◇154 2009.12 B5 51p

秦の昔話(22)  
「教正寺」二題(西谷の巻) 永野美智子

海援隊士 石田英吉(2) 岩崎 義郎  
所感、雑感(高知新聞から) 千頭 将宏

武内荘市著『鎮守の森は今』に寄  
せて 広谷喜十郎

民権ばあさん物語「馬とはちき  
んさん」(5) 海国図志

久米生太子/藤本知子  
地名往来「名切川」(高知新聞より)

空海と書道(4) 笹原 保博  
チエリ抄(7) 永国淳哉/藤本知子

俳句 天高し 西方 郁子  
「秦史談」誌紹介(高知新聞より)

再度 龍安寺を訪ねて 広谷喜十郎

木守柿(「土佐の風」より) 広谷喜十郎  
稲むらの火—安政南海地震(1) 毛利 俊男

劇団「若獅子」公演の記 松本 紀郎  
劇団「若獅子」招待 実施報告

「澤正」公演を見て(高知新聞より)  
宮地 毅

澤田正二郎の親族来高(高知新聞  
より)

岡村庄造氏拓本集から(15) 岡村 庄造  
リレーエッセイ お帰り!「澤田

正二郎」(「自由のともしび」よ  
り) 松本 紀郎

◇155 2010.1 B5 53p

次から次へと 繰り広げられて 安藤 美智  
墓前にしのぶ父「沢正」(高知新

聞から)「沢正展」番外編 今  
井章博(高知新聞より)/助成

金・秦史談会に/名優「沢正」  
を知って(高知新聞より)

岡田以蔵について  
幕末ノート(1) 広谷喜十郎

四字熟語のうったえ(ア行・カ行  
編) 永野美智子

長宗我部ファンの近況 鍋島 静一  
海援隊士 石田英吉(3) 岩崎 義郎

チエリ抄(8) 永国淳哉/藤本知子  
昭和の記憶(10)—敗戦の原因 中畑 中道

仏と巡礼 笹原 保博  
民権ばあさん物語「馬とはちき

んさん」(6) 出会い 久米生太子/藤本知子  
はま弓のこと 松本 紀郎

「稲むらの火」のその後 広谷喜十郎  
龍安寺と土佐の縁 影山保雄(高

知新聞より)  
安政南海地震(2)

—稲むらの火 前号のつづき 毛利 俊男  
岡村庄造氏拓本集から(16) 岡村 庄造

九州・沖縄

◆九州史学 九州史学研究会

〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1  
九州大学文学部日本史学研究室内  
Tel.092-642-2375  
www.lit.kyushu-u.ac.jp/his\_jap/kyushusigaku/

◇153 2009.12 B5 77p  
平安末・鎌倉初期の宋銭流通と国  
家 渡邊 誠  
大内氏奉行人家の存在形態—備中  
守・木工助系杉氏を中心に 三村 講介  
「陶祖」言説の成立と展開 小宮木代良

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1  
Tel.0955-73-3549 年2000円  
◇180 2009.12 B5 20p  
木造薬師如来立像 志佐 惲彦  
唐津庄屋文書の開拓者 小宮睦之  
先生を偲ぶ 中里 紀元  
古典文学を読む(下) 藤井 悟  
唐房の地名の由来(2) 堀川 義英  
唐房は「中国人街」だった 堀川 義英  
学科試験もあった徴兵検査 熊本 典宏  
山崎本「寺沢公記録」 寺沢 光世  
双水の住吉神社 丸田 利實  
歴史・伝説・歌  
—松浦佐用姫をめぐる 大嶋 仁  
考古学における唐津地方研究の成  
果(16)ものと生活(4) 建築  
部材 田島 龍太  
秋の史蹟めぐり  
—若狭・丹後路の旅 佐々木市太郎  
鯖街道と熊川宿 松本 和典

◆研究所情報 長崎人権研究所

〒850-0048長崎県長崎市上銭座町2-7

Tel.095-847-8690 年5000円  
homepage3.nifty.com/naga-humanrights/

◇51 2009.11 A4 8p  
09年セミナー「企業と人権」人  
権啓発推進指導者養成講座が開  
催される／ながさき人権フェス  
ティバル  
新聞記事に見るネットパトロール  
の現状 池田 芳信  
人権関係新聞記事ひろい読み  
2009年9月～11月  
書評 『被差別民の長崎・学一賀  
易とキリシタンと被差別部落』竹森健太郎  
村崎兄弟 馬場 務

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0002長崎県五島市中央町3-26  
カメラのササキ内 Tel.0559-72-2409  
◇88 2009.11 A5 156p  
私の感動した短歌(14) 佐々木祥一  
信濃の雪、信濃の春 田森テイ子  
心温まる幼少の故郷回顧(4) 三  
度の「九死一生」を乗り越えて 山中 彦昭  
四万十に友人を訪ねるの記(1) 伴 靖子  
五島歳時記 五島の教会 武羅井 高  
大切なひとへの想い 早瀬 栄子  
追憶 二題 松原 剛  
鬼岳自然公園(広域)の策定を  
—五島の将来の発展のために 比留木忠治  
父の手紙に見る激動の「昭和」(4) 内海 紀雄  
富江騒動始末記(3) 竹山 和昭

◆九州民俗学 九州民俗学会

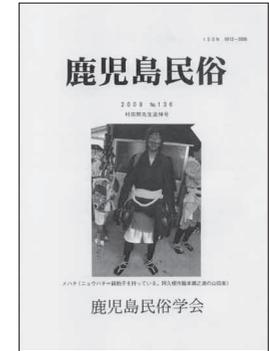
〒880-8520宮崎市船塚1-1-2 宮崎公立大学  
人文学部 永松敦研究室 Tel.0985-20-2000  
年2000円 2001年創刊  
www9.plala.or.jp/kyushu-folklore/

◇6 2009.12 A5 189p  
筑豊炭田、炭鉱の民俗 香月 靖晴  
地域の記憶を文化遺産として活用  
する—大牟田・荒尾の事例より 永吉 守  
タイの民俗行事と学校 弓削 淳一  
研究ノート  
高橋文太郎と山村民俗研究 永松 敦

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18  
阿多利昭方 Tel.099-253-1775 年4000円  
◇136 2009.12 B5 78p  
《村田熙先生追悼号》  
表紙解説 阿久根市脇本瀬之浦と  
高尾野町江内の山田楽 所崎 平  
村田熙先生の主な著書と論文  
秋の叙勲 悔いなしわが人生／第  
41回南日本文化賞 文化部門／  
お年玉の歴史と変遷 古くはモ  
チ／かごしま民俗夜話1 はじ  
めに 共同研究の「踏み台」  
に—南日本新聞から 村田 熙  
「民俗学一筋道、村田熙先生」と  
の思い出 下野 敏見  
近寄り難かったけれども 有馬 英子  
村田先生を偲んで 小川 三郎  
現場、民俗、村田熙先生 高谷 紀夫  
村田民俗学会 所崎 平  
はるかなる先人 本田 碩孝  
民俗学者にして教育者 牧 民郎  
鹿児島の廃仏毀釈  
—種子島の寺院整理 名越 護  
芸能キャンペーンの記録 所崎 平  
空順法印日記について(6) 森田 清美  
鹿の子百合物語(後) 小川 三郎  
鹿児島本土での蛇話覚書 本田 碩孝  
みんぞく・かわらばん

インフルエンザ予防一策 牧 民郎  
鹿児島新聞裏面史「初代主筆 元  
吉秀三郎の足跡」再論(1) 大武 進  
お寺の鉦を探す  
—太鼓踊の鉦とのつながり 所崎 平



\*鹿児島・南九州の民俗学研究的の第一人者  
で、昨年97歳で長逝された村田熙氏を追悼す  
る特集号。村田氏は、大正2年に鹿児島市に  
生まれ、進学した國學院大學で柳田国男に出  
会う。卒業後、40年余り郷土の旧制中学、高  
校教諭、鹿児島大学非常勤講師として教壇に  
立つ傍ら、薩摩盲僧を中心とする民俗学研究  
に打ち込んだ。昭和25年には先輩等と鹿児島  
民俗学会を復活し、長く同会を主宰した。そ  
の間、文化庁の依頼により甌島などの調査  
や、民具の収集・調査を手がけ、若手研究者  
を育成した。また、四半世紀に亘って県文化  
財保護審査委員を務めた。著作も多く、『村  
田熙選集』全4巻(第一法規、1994-96)として  
集成されている。これらの功績により、昭和  
59年に勲五等双光旭日賞、平成2年には第41  
回南日本文化賞(文化部門)を授与された。下  
野敏見氏は、鹿児島民俗学会草創期の意気込  
みや苦勞、人と研究会を育て、県下の民俗学  
の貴重な成果を数多く残した地味ながら美し  
い研究態度を詳細に述べた後で、村田氏らが  
敷かれた理論的民俗研究と実践的活動的民俗

研究の路線はしっかりと継承され、鹿児島民俗学会も最も隆盛な時代を迎えていると述べている。以って瞑すべしというべきであろう。

#### ◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖縄県宮古島市下里1223-8

下地和宏気付 TEL0980-72-9963

◇176 2010.1 B5 6p

1月定例会レジュメ 宮古島記事

仕次『与那原はら軍』を読む 下地 利幸  
クテナズ按司と与那覇原軍 下地 利幸  
「琉球処分」130年目の節目に宮古  
島民から惨殺事件を考える—11

月定例会の報告より 下地 和宏  
15世紀末の先島に触れる

—12月定例会の報告より 事務局  
和やかな21009年忘年会 下地 和宏  
第33回「郷土史講座」終了

県立図書館宮古分館 祖根 直樹  
近代沖縄の解明に重要な『沖縄教  
育』の復刻刊行始まる 仲宗根將二

#### 寄贈図書紹介

#### ◆吉田屋源兵衛日記 第九冊の二

元治元年六月より  
持館泰編 相馬郷土研究会 (〒976-8601 福  
島県相馬市中村字大手先13 相馬市教育文化  
センター博物館内 TEL0244-37-2191) 2009年  
10月 A5 132頁 1500円  
幕末から明治初年にかけて相馬藩の商人、吉  
田屋源兵衛によって書かれた日記『吉田屋日  
記』の翻刻版。本書には、水戸天狗党の乱を  
はじめ、維新への道を歩みだした文久4年  
(1864)の中村藩を中心とした世相を記した第  
9冊6月から9月の記事を収録する。

#### ◆日光 描かれたご威光

東照宮のまつりと将軍の社参

筑波大学附属図書館編・刊 (〒305-8577 茨  
城県つくば市天王台1-1-1 TEL029-853-2376)

2009年10月 A4 32頁

現在品切。以下でご覧になれます。

[http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/exhibition/  
nikkoshasan/zuroku.html](http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/exhibition/nikkoshasan/zuroku.html)

平成21年度筑波大学附属図書館の大学院人文  
社会学研究科歴史・人類学専攻との共催特別  
展図録。筑波大学附属図書館所蔵「日光御参  
詣警固絵図」を中心に、日光に関係する図書  
館所蔵資料を多数展示・公開する。将軍の日  
光社参と描かれたご威光(山澤学)／将軍家慶  
日光社参の道／近世日光山と東照宮の荘厳／  
日光参詣の諸相／将軍家慶の日光社参／筑波  
大学附属図書館所蔵の絵図(篠原富士男)

#### ◆下野の中世を旅する

江田郁夫著 随想舎 (〒320-0033 栃木県宇  
都宮市本町10-3 T Sビル TEL028-616-6605)  
2009年11月 A5 239頁 1800円

下野の中世をたどる／道から下野の中世をみ  
る／城から下野の中世をみる／下野武士団の  
興亡をさぐる／地域を訪ねる／史料を読む／  
研究をひもとく

#### ◆続 銚子の歴史と伝説

銚子市郷土史談会35周年記念誌  
銚子市郷土史談会編 秀英社 (〒288-0802  
千葉県銚子市松本町1-6-2 TEL0479-22-8900)  
2009年9月 B5 138頁 1000円 販売所：  
銚子市青少年文化会館 (TEL0479-22-3315 毎  
月第三日曜日午後)

昭和48年(1973)の発足以来35周年を迎える銚  
子市郷土史談会の記念誌。「続 銚子の歴史と  
伝説」発刊によせて(大木衛)／郷土史談会35  
周年記念「続 銚子の歴史と伝説」の発刊を  
祝う(野平匡邦)／郷土史談会35周年記念誌発  
行を祝して(石毛健治)／銚子市郷土史談会35  
周年記念誌の発刊を祝して(狩野勉)／35周  
年記念誌刊行を祝して(吉原鎮男)／考古学か

らみた銚子と琥珀(伊藤睦憲)／粟島台遺跡か  
ら学ぶもの(小松繁)／淡嶋信仰にみる本地垂  
迹説(西川照幸)／海上八幡宮略記(埜富造)／  
「古城」落城と「和歌里」(埜太郎右衛門)と  
の関わり(阿部明)／銚子市内の中近世遺跡調  
査(大木衛)／飯沼城(館)址(高森良昌)／銚子  
外川の歴史と伝説(田村精一)／篠塚弥右衛門  
のおさつ物語から読み解く「波崎と銚子おさ  
つ」(岩瀬賢氏)／歌川広重『下総銚子の浜外  
浦』の高嵩谷(大崎島)／美加保丸遭難(松本  
笑子)／ひ志おのルーツとその未来(室井房  
治)／青魚から宝を探し出す—イワシ・サン  
マ・サバの効用(信田臣一)／ふるさとの歌づ  
くり(越川芳雄)／銚子・波崎間の対岸交通と  
義民伝承(米谷博)／大納屋治郎衛門 外川港  
記(江畑好治)／文化の開拓者 伊能忠敬(宮  
内敏)／濱口梧陵と銚子(戸石四郎)／国文学  
者 松井簡治と『大日本国語辞典』(高森良  
文)／国木田独歩の作品について(野中豊)／  
大東亜戦争参加の郷土部隊の概要(網中喜一  
郎)／獵師一代(鈴木正次)／銚子市郷土史談  
会定例会(平成5年度～平成19年度)／銚子の  
史跡・遺跡・文学碑案内

#### ◆品川を愛した将軍徳川家光

—品川御殿と東海寺  
品川区立品川歴史館編 品川区教育委員会  
(〒140-8715 東京都品川区広町2-1-36 TEL  
03-3777-1111) 2009年10月 A4 145頁  
品川区立品川歴史館の2009年度特別展の図録  
である。徳川家光と東海寺開山の禅僧 沢庵  
宗彰を中心に、品川区新収品で初公開の品川  
御殿図や東海寺所蔵品などを通して「品川を  
愛した将軍」を紹介する。三代将軍徳川家光  
／御殿山の品川御殿／万松山東海寺建立／付  
録(史料釈文、『江戸幕府日記』にみる将軍  
家光の品川御成、将軍家光の御成箇所統計表、  
東海寺歴代住職一覧、年表)

#### ◆日本考古学2008 第20回友の会主催講演

会記録／2008年友の会講演記録  
明治大学博物館友の会編・刊 (〒101-8301  
東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL03-3296-  
4448) 2009年10月 B5 83頁  
2008年4月12日に開催された第20回明治大学  
博物館友の会主催講演会と5月の総会記念講  
演の記録集。先史時代の植物利用再考—近年  
の研究成果から(高瀬克範)／長野県柳沢遺跡  
の銅戈と銅鐸、佐賀県桜馬場遺跡と末盧国  
(石川日出志)／群馬県地域における古墳成立  
前後の様相(予察)—太田市・也掘む甲山古墳  
の調査・整理を基点として(深沢敦仁)／霞ヶ  
浦北西岸地域における首長系譜の継続と断絶  
(佐々木憲一)／総会特別講演 私と明治大学  
考古学研究室と杉原先生(大塚初重)

◆厚木市史発刊記念展示図録 荻野山中藩  
厚木市教育委員会教育総務部文化財課文化財  
保護係編 厚木市 (〒243-8511 神奈川県厚  
木市中町3-17-17 TEL046-225-2060) 2009年10  
月 A4 29頁

江戸時代の愛甲郡荻野村に陣屋を構えた石高  
1万3千石の譜代小藩 荻野山中藩を取り上げ  
た厚木市史第10回配本『厚木市史 近世資料  
編(5) 村落3 荻野山中藩』の発刊記念展示  
図録である。荻野山中藩歴代藩主／荻野山中  
藩領の村／荻野山中藩陣屋／荻野山中藩士  
岡本隆徳と岡本秋暉・松下祐信／荻野山中藩  
順席帳／荻野山中藩陣屋焼討事件／箱根戦争  
／明治維新／展示資料目録

#### ◆豊臣秀吉と大山崎

大山崎町歴史資料館編・刊 (〒618-0071 京  
都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふ  
るさとセンター内 TEL075-952-6288) 2009年  
10月 A4 40頁  
大山崎町歴史資料館の第17回企画展の図録。  
山崎合戦後の豊臣～江戸前期の大山崎を、地  
域住民の姿にも焦点をあてながら、絵画資  
料・文献史料を中心に紹介する。秀吉の城下

町へ／豊臣から徳川の治世へ／釈文一覧

◆田原本御坊浄照寺史 あれこれ語／法談  
そらちやうで

松慶山浄照寺（〒636-0300 奈良県磯城郡田  
原本町584 TEL0744-32-2477）2009年10月  
B6 287頁

浄照寺寺報『いちょう』（1999年11月創刊）  
に連載された「浄照寺史 あれこれ語」41回  
（河野昭昌執筆）と、34話の法談（佐々木泰  
磨執筆）を収録する。

◆対馬国志 全3巻

永留久恵著 「対馬国志」刊行委員会（〒817-  
0012 長崎県対馬市厳原町日吉265-2 TEL  
0920-52-5230）2009年7月（2009年9月2刷）

A5 原始・古代編：446頁 3619円／中世・  
近世編：378頁 3238円／近代・現代編：378  
頁 3238円（3冊揃8057円）

〔原始・古代編 ヤマトとカラの狭間で活き  
た対馬〕 ツシマは津島／対馬のあけぼの—  
縄文文化と櫛目文文化の交流／弥生文化と対  
馬国の「水人」—「南北市糶」に活きた倭の一  
国／倭王権の対外交渉と対馬—三韓・三国と  
の密接な関係／アスカ政権の「迎要」の守り

—対馬国司の赴任と金田城築城／奈良朝の律  
令制と対馬島—ト部の上京、防人は東国より  
派遣／平安朝前期のアジア情勢—国威を誇示  
した対馬の官社／平安後期の島内事情—時代  
を改める武門の登場／古代対馬の民俗文化—  
古代アジアの文化を伝えた古俗

〔中世・近世編 武門の興亡と対馬の交隣〕  
鎌倉幕府と対馬守護代—武家政治の始まり、  
そして元寇／南北二朝と対馬の分裂—倭寇の  
巢窟となった浅茅湾／室町幕府と対馬の交隣  
—対馬島主と朝鮮国との貿易約定／戦国争乱  
と対馬の内戦—貿易をめぐる宗氏と諸豪の確  
執／朝鮮の役と近世への転換—秀吉に泣かさ  
れた対馬の荒廃／幕藩体制と朝鮮通信使—家  
康から与えられた宗氏の家役／藩政の改革と  
学問興隆—多士済々の学者を輩出した時代／  
幕末期の藩政の乱れ—藩財政の困窮と通信使  
の終末

〔近代・現代編 戦争と平和の国際交流〕 明  
治の国防と離島行政—文明開化が後れた対馬  
の事情／大正・昭和前期の明と暗—二度の世  
界大戦をはさんで／大戦後の新しい時代—交  
隣復活へと動き出した現代

◆後記

7月18日、たまたまつけたテレビで、途中からではあったが、「ハッ場ダム三代—愛するふるさとよ 沈んでくれ！」を観て胸が塞がれた。この問題に対する私の思いは、既に『地方史文献年鑑 2007』（2009.12）の前書きで述べたとおりである。ハッ場ダムが治水・利水という当初目的から現在も必要か、その費用対効果はどうか、自然環境保護は、という視点からすれば、不要であるといわざるを得ない。しかし、このドキュメンタリーで改めて感じたことは、58年前に計画が持ち上がった時に、こぞって反対した住民たちが、今や推進するしかない已むに已まれぬ状況に追い込まれていること、その言葉に言い表せないほどの複雑な思いを、政治が何ら斟酌していないということだ。営々と培って来た地域コミュニティを崩壊させ、唾み合わなければならぬという構図は、何ともやりきれない。ドキュメンタリーのタイトルには、三代という長きに亘って翻弄され、生活設計も立てられず、歯を食いしばって生きてきたのに、追い討ちをかけるように冷徹な政策決定がなされ、嫌がらせまで受けなければならない住民の無念さが表されている。まず、その思い、痛みを率直に受け止めること、それが政治の信義というものではなかろうか。（飯澤）

地方史情報 098 2010年(平成22年)8月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>  
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137  
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南鳥山4-25-6-103 TEL03-3326-3757